

2025年度
2025 Academic Year

高知大学大学院 総合人間自然科学研究科
医学専攻(博士課程)

学生募集要項

APPLICATION FOR ADMISSION TO THE DOCTORAL COURSE IN STUDIES IN
MEDICINE GRADUATE SCHOOL OF INTEGRATED ARTS AND SCIENCES
KOCHI UNIVERSITY FOR APRIL 2025

(一般選抜・社会人特別選抜)

2024年10月29日改訂版

P4・5・6・9・10・11 3 出願資格についての注意及び4 出願手続について郵便料金の値
上げに伴い変更しました。(変更箇所は赤字表記)



高 知 大 学

目 次

| | |
|---|----|
| アドミッション・ポリシー（入学者受入方針） | 1 |
| [一般選抜・社会人特別選抜] | |
| 1 募集するコース及び募集人員 | 3 |
| 2 出願資格 | 3 |
| 3 出願資格についての注意 | 4 |
| 4 出願手続 | 5 |
| 5 選抜方法 | 7 |
| (English) [ADMISSION FOR FEE-PAYING FOREIGN STUDENTS] | |
| 1 Admission Capacity | 8 |
| 2 Application Eligibility | 8 |
| 3 Notes | 9 |
| 4 Application Procedures | 9 |
| 5 Selection Procedure | 12 |
| [合格者発表・入学手続等] | |
| 1 合格者発表 | 13 |
| 2 入学手続等 | 13 |
| (English) [Notification of Results and Admission Procedures] | |
| 1 Notification of Results | 14 |
| 2 Admission Procedures | 14 |
| [その他] | |
| 1 障害等のある者の出願 | 15 |
| 2 奨学金 | 17 |
| 3 その他 | 17 |
| (English) [Other Notes] | |
| 1 Reasonable Accommodations for Students with Disabilities | 18 |
| 2 Scholarships | 20 |
| 3 Other Notes | 20 |
| 医学専攻の研究内容の概要 | 21 |
| カリキュラム | 28 |
| 長期履修学生制度について | 30 |
| 授業科目表 | 31 |
| 試験場案内 (Access to Oko Campus) | 43 |

【別途ダウンロード書類】

- | |
|---|
| <p>○入学願書・履歴事項 ○受験票・写真票 ○受験許可書 ○住所票 ○提出書類郵送あて名書き用紙 ○入学検定料払込用紙記入例</p> |
|---|

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

医学専攻では、下記のような学生を受け入れて、教育研究を行います。

生命科学コース

【知識・理解 / 関心・意欲, 態度】

- ・医学の分野に限らず、広い学問領域において高い基礎学力を持ち、生命科学分野の研究に取り組む熱意と能力を持っている。
- ・研究を通して社会との連携や国際交流・協力を推進しようとしている。

【思考・判断】

- ・研究の成果を国際的社会貢献、あるいは新しい医療に応用するという視点を持ち、基礎的ないしトランスレーショナルリサーチを推進しようとしている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

| 選抜方法 | 評価する能力 | | |
|-----------|--------|-------|-----------|
| | 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲, 態度 |
| 英語 | ◎ | ◎ | |
| 志望コース関連試験 | ◎ | ◎ | ◎ |

医療学コース

【知識・理解 / 技能・表現】

- ・高度な専門的知識と技能を身につけた専門医を志している。

【関心・意欲, 態度】

- ・社会のニーズを適切に把握し、国際的な視野に立ってトランスレーショナルリサーチを推進しようとしている。
- ・人間の健康や疾病に関わる問題を、広い視野で探索し、解決するための研究を展開しようとしている。
- ・研究によって、国内外の保健・医療・福祉分野・法医学の推進あるいは高度な教育・研究に携わる意思を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

| 選抜方法 | 評価する能力 | | |
|-----------|--------|-----------|-------|
| | 知識・理解 | 関心・意欲, 態度 | 技能・表現 |
| 英語 | ◎ | | |
| 志望コース関連試験 | ◎ | ◎ | ◎ |

情報医療学コース

【知識・理解/技能・表現 / 関心・意欲, 態度】

- ・電子化医療データの解析による新たな規則性等の発見手法や「治療評価」、「診断支援」、「医療の質向上」、『稀な事象の検出』の手法、病態推移予測等のモデルによる解析手法などを身につけ、臨床検査機器メーカーや製薬企業等の医療系企業で活躍する熱意と能力を持っている。

【思考・判断/関心・意欲, 態度】

- ・電子化医療データの解析によって得られた知見を、疫学的あるいは臨床的研究に応用してより精度の高い結果へ発展させる熱意と能力のある人。
- ・集団基盤的な医学研究の新しい分野を開拓し発展させる意欲を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

| 選抜方法 | 評価する能力 | | | |
|-----------|--------|-------|-----------|-------|
| | 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲, 態度 | 技能・表現 |
| 英語 | ◎ | ◎ | | |
| 志望コース関連試験 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |

小児神経精神医学コース

医学部卒業生（医療系大学院修士課程修了者を含む。）及び非医療系大学院において発達障害に関する研究で修士の学位を授与された者で、以下のような人を求めます。

【関心・意欲，態度】

- ・小児科医あるいは児童精神科医を志望し，発達障害についての理解と経験を深めたいと思っている人。
- ・小児科医あるいは児童精神科医のキャリアとして，病院臨床の枠を超えて，児童福祉や行政まで視野に入れて考えている人。
- ・小児神経精神医学について，国際的な視野を持って実践や研究をしていきたいと考えている人。
- ・臨床的な視点からの発達研究に興味のある人。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

| 選抜方法 | 評価する能力 |
|-----------|----------|
| | 関心・意欲，態度 |
| 英語 | ◎ |
| 志望コース関連試験 | ◎ |

MD-PhDコース

本学医学部医学科の卒業生のうち先端医療学コースⅣの単位を修得した者で，以下のような人を求めます。

【関心・意欲，態度】

- ・大学及び他の研究機関等において，基礎医学研究者あるいは臨床医学研究者として医学の発展に取り組みたいと思っている人。
- ・病院及び他の医療機関等において，専門医として医学・医療の発展に取り組みたいと思っている人。
- ・行政機関等において，医療・福祉行政の発展に取り組みたいと思っている人。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

| 選抜方法 | 評価する能力 |
|-----------|----------|
| | 関心・意欲，態度 |
| 英語 | ◎ |
| 志望コース関連試験 | ◎ |

海洋医学コース

【関心・意欲，態度】

- ・海洋科学に関心を持ち，医学研究を海洋に適用して資源フロンティアに挑もうとする意欲を持つ人。
- ・医学研究に関心を持ち，海洋科学的手法を医学に適用して新規分野を開拓しようとする意欲を持つ人。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

| 選抜方法 | 評価する能力 |
|-----------|----------|
| | 関心・意欲，態度 |
| 英語 | ◎ |
| 志望コース関連試験 | ◎ |

※【入学者選抜方法と評価する能力】の表の◎は，当該能力の重要度またはそれを評価する比重・目安を示します。（◎は必須・最重要項目）なお，◎は配点の内訳とは直接関係はありません。

[一般選抜・社会人特別選抜]

1 募集するコース及び募集人員

| コース | 募集人員 | 備 考 |
|--|------|--|
| 生命科学 医療学 情報医療学 小児神経精神医学 MD-PhD 海洋医学 | 30 人 | 1. 社会人特別選抜の募集人員を含みます。 2. <u>本専攻の募集人員(30人)に満たない、あるいは総合人間自然科学研究科(博士課程)の募集人員(42人)に満たない場合は、第2次・第3次募集を行うことがあります。第2次・第3次募集実施の有無・変更は、高知大学ホームページにてお知らせしますので、必ず確認してください。</u> |

2 出願資格

【生命科学コース・医療学コース・情報医療学コース・小児神経精神医学コース・MD-PhDコース】

次の各号のいずれかに該当する者とします。

ただし、外国人留学生については、外国の国籍を有する者で日本における在留資格が本学の入学に支障がない者としてします。

- (1) 大学の医学部医学科、歯学部又は修業年限6年の薬学もしくは獣医学を履修する課程を卒業した者及び2025年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位（専攻分野は医学、歯学、薬学又は獣医学）を授与された者及び2025年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が5年以上である課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2025年3月までに授与される見込みの者
- (7) 大学院研究科において修士課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者等文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号）
- (8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学の医学、歯学又は修業年限6年の薬学もしくは獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者及び2025年4月1日までに24歳に達する者

なお、MD-PhDに出願することができる者は、高知大学医学部医学科を卒業し、かつ『先端医療学コースIV』の単位を取得している者です。

【海洋医学コース】

次の各号のいずれかに該当する者とします。

ただし、外国人留学生については、外国の国籍を有する者で日本における在留資格が本学の入学に支障がない者としてします。

- (9) 大学の医学部医学科、歯学部又は修業年限6年の薬学を履修する課程を卒業した者及び2025年3月までに卒業見込みの者
- (10) 医療系大学院修士課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- (11) 大学院研究科において海洋科学に関する研究で修士の学位を授与された者及び2025年3月までに修了見込みの者
- (12) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学又は薬学）を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- (13) 外国において、学校教育における18年の課程を修了し海洋科学に関する研究で修士の学位を授与された者及び2025年3月までに修了見込みの者
- (14) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終課程は医学、歯学又は薬学）を修了したとされるもの。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者

3 出願資格についての注意

(1) 出願資格の確認について

出願資格が(3), (4), (5), (6), (7)に該当する者、小児神経精神医学コースを志望する者で非医療系大学院において発達障害に関する研究で修士の学位を授与された者及び外国人留学生は、事前に出願資格の確認を行いますので、出願前に医学部入試担当（メール:nys-web@kochi-u.ac.jp）へ、小学校から修士課程までの学校歴（入学・卒業年月）を送付してください。

(2) 個別の入学資格審査について（「出願資格(8)」の該当者）

「出願資格(8)」に該当する者は、事前に入学者資格審査を行いますので、あらかじめ志望する指導教員に照会のうえ、必要書類を、第1次募集については2024年6月21日(金)までに、第2次募集については2024年11月14日(木)までに、第3次募集については2025年1月20日(月)までに提出してください。

| 「出願資格(8)」の入学資格審査に必要な書類 |
|--|
| (ア) 入学資格認定申請書（本専攻所定の用紙） (イ) 履歴事項（本専攻所定の用紙） (ウ) 最終出身学校卒業（修了）証明書 (エ) 最終学校の成績証明書 (オ) 研究歴証明書（本専攻所定の用紙） (カ) 研究業績調書（本専攻所定の用紙） (キ) 返信用封筒：表に住所・氏名を記入し、410円分の切手を貼付した長形3号(23.5cm×12cm)の封筒 ※ 提出書類のうち外国語によるものは日本語の訳文を添付すること。 ※ 証明書氏名に改姓等がある者は戸籍抄本等を添付すること。 |

「本専攻所定の用紙」は、高知大学受験生サイト (<https://nyusi.kochi-u.jp/>) からダウンロードできます。

(3) 社会人特別選抜について

総合人間自然科学研究科医学専攻（博士課程）では、医学、医療関係分野等で勤務する社会人に対して高度の知識、研究能力を修得する機会を与えるための、夜間その他特定の時期に授業・研究指導を行う教育方法の特例による「昼夜開講制」を導入し、この制度を基に、社会人の特別選抜を実施しています。〔大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第14条に定める教育方法の特例を適用〕

社会人特別選抜に出願することができる者は、前記2 出願資格のいずれかに該当する者で、医療機関、教育・研究機関、企業などに勤務している者又は入学直後に勤務することが見込まれる者で、入学後もその身分を有し、所属長の受験許可を得ることが可能な者とします。

4 出願手続

(1) 出願期間

【第1次募集】 2024年7月22日(月)から7月24日(水)8時30分～17時《必着》

【第2次募集】 2024年12月16日(月)から12月18日(水)8時30分～17時《必着》

【第3次募集】 2025年2月17日(月)から2月19日(水)8時30分～17時《必着》

出願期間最終日の17時を必着としますので、郵送する場合は、郵便事情を十分考慮のうえ、余裕をもって発送してください。なお、出願期間前に到着したものは、受付初日に処理します。

(2) 出願方法

次の(3)に掲げる出願書類等を一括とりそろえ、角形2号の封筒に入れ、「提出書類郵送あて名書き用紙」に必要事項を記入のうえ、これを封筒に全面のり付けして、特定記録・速達郵便で所定の期間内に提出してください。なお、本人が持参する場合も、必ず上記のように封筒を作成してください。

出願書類の様式・提出書類郵送あて名書き用紙は受験生サイト (<https://nyusi.kochi-u.jp/daigakuin/admissions>) からダウンロードできます。

＜出願書類提出先＞ 〒783-8505 なんこくし おこうちようこはす 南国市岡豊町小蓮
高知大学医学部入試担当（電話 088-880-2295）

出願に際しては、あらかじめ志望するコースの研究指導教員に照会のうえ、出願してください。

(3) 出願書類等

| | | |
|---|-----------------------------------|---|
| ① | 入学願書, 履歴事項 | 受験生サイトよりダウンロードして作成。 在職中に一般選抜で出願する者は、履歴事項に退職予定日を記入すること。 |
| ② | 受験票, 写真票 | 受験生サイトよりダウンロードして作成。 写真票には出願前3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm, 正面, 上半身, 無帽)を貼付すること。 |
| ③ | 成績証明書 | 最終出身学校の学長(学部長)等が作成し、厳封したもの。 出願資格(8)の該当者は提出不要。 また、証明書氏名に改姓等がある者は戸籍抄本等を添付すること。 |
| ④ | 最終出身学校卒業(修了) (見込)証明書 | 出願資格(2), (8)の該当者は提出不要。 また、証明書氏名に改姓等がある者は戸籍抄本等を添付すること。 |
| ⑤ | 受験許可書 | 受験生サイトよりダウンロードして作成。(社会人特別選抜出願者のみ提出) |
| ⑥ | 入学検定料30,000円 (振替払込請求書兼受領証のコピー) | 郵便局・ゆうちょ銀行で郵便局指定の用紙を使用し、以下の口座に払い込んでください。「振替払込請求書兼受領証」(郵便局・ゆうちょ銀行で受付局日附印を押印してもらったもの)のコピーを提出すること。 (納入した入学検定料は、出願受付後においてはいかなる理由があっても返還しません。) 受取人口座名義：高知大学 指定金融機関：ゆうちょ銀行 振替口座 口座記号番号 01610-5-129391 ※通信欄に出願専攻名と出願者氏名を記入してください。 ※振り込みに要する手数料は、志願者のご負担となります。 ※振替払込請求書兼受領証の原本は本人控えとして保管ください。 ※2025年3月に本学大学院(修士課程)修了予定者は不要です。 |
| ⑦ | 住所票 | 受験生サイトよりダウンロードして作成。 本学からの通知が確実に届く本人のあて先を記入すること。 |
| ⑧ | 受験票送付用封筒 | 表に住所・氏名を記入し、410円分の切手を貼付した長形3号(23.5cm×12cm)の封筒を同封すること。(出願受付後、受験票の送付に使用します。) |

| | | |
|--|--|--|
| ⑨ | <p>英語資格・検定試験の公式認定証等 ※「(4)出願書類提出上の注意⑦英語資格・検定試験の公式認定証等について」を確認のこと。</p> | <p>次のいずれかを提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●TOEIC Listening & Reading 公開テスト「デジタル公式認定証」(Digital Official Score Certificate) の写し ●TOEIC Listening & Reading 公開テスト「公式認定証」(Official Score Certificate) ●TOEFL iBTテスト「公式スコアレポート」(Official Score Report) ●IELTS™「成績証明書」(Test Report Form) <p><u>提出できない者は、学力試験(英語(TOEIC Listening & Reading IPテスト))を必ず受験すること。</u></p> |
| <p><その他の必要書類></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本に在住する外国人にあつては、市町村長の発行する住民票の写し(国籍、在留資格、期間が記載されたもの)を上記書類に加え提出すること。 2. 「出願資格(2), (3), (4), (6), (12), (13)」による修士の学位を授与された者は、「学位記」の写し又は「学位授与(見込)証明書」を提出すること。 | | |

(4) 出願書類提出上の注意

- ① 出願書類のうち一つでも不備のある場合には、出願書類を受け付けません。
- ② 出願書類の受付後は、書類の返還及び記載事項の変更を認めません。
- ③ **提出書類のうち外国語によるものは日本語の訳文を添付してください。**
- ④ 入学後においても、提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消します。
- ⑤ 出願書類の受付後は、検定料及び出願書類は、いかなる理由があつても返還しません。
- ⑥ 外国人留学生については、**出願書類提出前に**医学部入試担当に問い合わせてください。
- ⑦ 英語資格・検定試験の公式認定証等について

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●TOEIC Listening & Reading 公開テスト「デジタル公式認定証」(Digital Official Score Certificate) の写し <ul style="list-style-type: none"> ・有効な受験期間は2023年4月以降のもの。 ・IIBC (TOEIC事務局) から発行された「TOEICデジタル公式認定証」を印刷したものを提出すること。 ●TOEIC Listening & Reading 公開テスト「公式認定証」(Official Score Certificate) <ul style="list-style-type: none"> ・有効な受験期間は2023年4月以降のもの。 ・出願時にスコア証明書の原本を提出すること(コピーやWeb上からのダウンロードされた成績証明書は不可)。ただし、原本の返却が必要な場合は、返送用の封筒(角型2号)に180円分の切手を貼り、願書と一緒に提出すること。 ・認められないテスト種別 <ul style="list-style-type: none"> TOEIC Listening & Reading 団体特別受験制度(IP: Institutional Program, 以下IPテスト), TOEIC Listening & Reading IPテスト(オンライン), TOEIC Speaking & Writing Tests, TOEIC Speaking Test, TOEIC Writing Test, TOEIC Bridge Tests なお、出願期間最終日までに、スコア証明書(原本)が高知大学に届かない場合は、学力試験(英語(TOEIC Listening & Reading IPテスト))を必ず受験すること。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●TOEFL iBTテスト「公式スコアレポート」(Official Score Report) <ul style="list-style-type: none"> ・2023年4月以降に受験した TOEFL iBT テストの「公式スコアレポート」(Official Score Report)が、出願期間最終日までに ETS (Educational Testing Service) から直接高知大学入試課に届くように事前に手続をすること。(手続から本学に届くまで2か月以上掛かる場合があるので、早めに手続を進めてください。) ・高知大学入試課(Kochi University-Admission Division)の登録コード(DI Code)は2598です。学部別のコードはありません。 <ul style="list-style-type: none"> なお、出願期間最終日までに、「公式スコアレポート」(Official Score Report)が ETS から直接高知大学に届かない場合は、学力試験(英語(TOEIC Listening & Reading IPテスト))を必ず受験すること。 |

●IELTS™「成績証明書」(Test Report Form)

- ・2023年4月以降に受験した IELTS™の「成績証明書」(Test Report Form)が、出願期間最終日までに実施機関から直接高知大学入試課に届くように事前に手続をすること。但し、Academic Module に 限ります。
- なお、出願期間最終日までに、「成績証明書」(Test Report Form)が 高知大学に届かない場合は、学力試験(英語(TOEIC Listening & Reading IPテスト))を必ず受験すること。

5 選抜方法

入学者の選抜は、学力試験の結果及び成績証明書を総合評価し、合格者を決定します。

(1) 学力試験

| 期 日 | 試 験 科 目 | 時 間 |
|---|---|------------------|
| 【第1次募集】2024年8月16日(金) 【第2次募集】2025年1月26日(日) 【第3次募集】2025年3月11日(火) | 英 語 TOEIC Listening & Reading IPテストを実施します (TOEIC Listening & Reading公開 テスト等の公式認定証等を提出 していない者)。 | 9 : 30 ~ 12 : 00 |
| | 志望コース関連試験(注) (口頭試問又は筆記試験) | |

(注) 別日程で実施する場合があります。

(2) 受験上の注意事項

- ① TOEIC Listening & Reading Testについては、<https://www.iibc-global.org/toeic.html> を参照ください。
- ② 英語の試験室、志望コース関連試験の開始時刻・場所については、受験票発送時にお知らせします。
- ③ 試験場への道順、交通機関等については、「試験場案内」等で確認してください。
- ④ 各試験が終了するまでは退室できません。
- ⑤ 試験科目を全て受験しないと合格者となりません。
- ⑥ 試験説明開始から20分経過後の入室・受験は認められません。
- ⑦ 試験期間中は、受験票を必ず携帯してください。
- ⑧ 試験室内での携帯電話、電子機器類の使用は禁止します。それらの機器を試験室に持ち込む場合は、あらかじめ電源を切っておいてください。
- ⑨ 監督者等の指示に従わないとき、又は不正行為をしたとき、若しくはしようとしたときは、失格とします。不正行為を行った場合は警察に被害届を出す場合があります。
- ⑩ 机の上に置けるものは、黒鉛筆、シャープペンシル(黒)、消しゴム、鉛筆削り、時計(計時機能だけのもの)のみです。その他のものは指定の場所に置いてください。
- ⑪ 追試験は実施しませんので、天候等により交通機関に影響が予想される場合は早めに移動してください。

(3) 試験場

高知大学医学部 (南^{なん}国^{こく}市^し岡^お豊^{こう}町^{ちやう}小^こ蓮^{はす})

ADMISSION FOR FEE-PAYING FOREIGN STUDENTS

1. Admission Capacity

| Course | Capacity |
|---|----------|
| Life Science Course Clinical Science Course Information Healthcare Science Course Neurology/Psychiatry in Child and Adolescence Course MD-PhD Course Ocean and Medicine Course | 30 |

2. Application Eligibility

【Life Science Course • Clinical Science Course • Information Healthcare Science Course • Neurology/Psychiatry in Child and Adolescence Course • MD-PhD Course】

Applicants must fulfil one of the following criteria.

- (1) Has graduated or expects to graduate by March 2025 from a faculty of medicine, dentistry, pharmacy (6-year course) or veterinary medicine (6-year course).
- (2) Has received a bachelor's degree (in medicine, dentistry, pharmacy or veterinary medicine) from the National Institute for Academic Degree and Quality Enhancement of Higher Education according to Article 104-4 of the School Education Law, or expects to complete the degree by March 2025.
- (3) Has completed, or expects to complete by March 2025, 18 years of education abroad. (The last course of study undertaken must be in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine.)
- (4) Has completed, or expects to complete by March 2025, 18 years of correspondence education given by an institution abroad while residing in Japan. (The last course of study undertaken must be in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine.)
- (5) Has completed, or expects to complete by March 2025, a course of study at a foreign educational institution in Japan which is equivalent to 18 years school education abroad, conforms to the educational system of the relevant country, and is accredited by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. (The last course of study undertaken must be in medicine, dentistry, pharmacy, or veterinary medicine.)
- (6) Has completed or expects to complete a course of study of no less than 5 years (of which the last course of study must be in medicine, dentistry, pharmacy or veterinary medicine) at an approved foreign university or school – including distance education undertaken while residing in Japan and study at a foreign institution in Japan that is accredited as in criteria (5) – and has received or expects to receive a bachelor's degree or equivalent by March 2025. Approved foreign educational institutions are limited to those whose education and research programs have received a comprehensive evaluation from an entity certified by the relevant foreign government or governmental organization or from a body designated as equivalent by the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology.
- (7) Holds a master's degree from an accredited institution in Japan or expects to complete the degree by March 2025 (according to the Public Notice of the Ministry of Education No. 405).
- (8) Is over 24 years old or shall be 24 years old by 1 April 2025 and has an academic ability equivalent to or higher than that of a graduate from a faculty of medicine, dentistry, pharmacy (6-year course) or veterinary medicine (6-year course) as determined in an academic review by the Graduate School of Integrated Arts and Sciences.

Those who graduated from medical course of Kochi Medical Course, and completed and obtained credits of "先端医療学コースIV" are eligible for MD-PhD course

【Ocean and Medicine Course】

Applicants must fulfil one of the following criteria.

- (9) Has graduated or expects to graduate by March 2025 from a faculty of medicine, dentistry or pharmacy (6-year course).
- (10) Holds a master's degree from an accredited medicine-related institution in Japan or expects to complete the degree by March 2025.

- (11) Has been given master's degree with completing research regarding marine science from an accredited institution in Japan or expects to complete the degree by March 2025.
- (12) Has completed, or expects to complete by March 2025, 18 years of education abroad. (The last course of study undertaken must be in medicine, dentistry or pharmacy).
- (13) Has completed 18 years of education abroad and been given a master's degree with completing research regarding marine science, or expects to complete the degree by March 2025.
- (14) Has completed, or expects to complete by March 2025, a course of study at a foreign educational institution in Japan which is equivalent to 18 years school education abroad, conforms to the educational system of the relevant country, and is accredited by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. (The last course of study undertaken must be in medicine, dentistry or pharmacy).

3. Notes

- (1) Those who wish to apply for admission under (3), (4), (5), (6) or (7) above, those who wish to apply for the "Neurology/Psychiatry in Child and Adolescence Course" and hold a master's degree in developmental disorder from a non-medical university, and those who are international students must obtain details of the procedure from the following office:

Kochi Medical School Admission Office
 Kohasu, Oko-cho, Nankoku-shi 783-8505
 Email: nys-web@kochi-u.ac.jp

- (2) The Faculty Committee reviews the qualifications of those who wish to apply for admission under (8) above. The applicant should contact a professor of the desired department and then submit the documents listed below by 21 June 2024 (for first-entry admission), by 14 November 2024 (for second-entry admission) or by 20 January 2025 (for third-entry admission).

| Documents required for Confirmation of Qualification 2(8) |
|--|
| a) Application for confirmation of admission eligibility (use the prescribed form). b) Curriculum vitae (use the prescribed form). c) Official certificate of final graduation issued by the university or other educational institution attended. d) Certified academic record from the university or other educational institutions attended. e) List of research conducted by the applicant (use the prescribed form). f) List of articles written by the applicant (use the prescribed form). g) Stamped (¥410)* self-addressed envelope (23.5cm×12cm) . (※:Charges may be revised). * Documents written in neither English nor Japanese must have a Japanese translation attached. |

<https://nyusi.kochi-u.jp/>

4. Application Procedures

(1) Application Filing Period

* For 1st entry admission.

The completed application forms must be presented to the Medical School Admission Office between 8:30 and 17:00, from 22 July 2024 to 24 July 2024.

If mailed, the application forms must reach the office by 17:00, 24 July 2024.

* For 2nd entry admission.

The completed application forms must be presented to the Medical School Admission Office between 8:30 and 17:00, from 16 December 2024 to 18 December 2024.

If mailed, the application forms must reach the office by 17:00, 18 December 2024.

* For 3rd entry admission.

The completed application forms must be presented to the Medical School Admission Office between 8:30 and 17:00, from 17 February 2025 to 19 February 2025.

If mailed, the application forms must reach the office by 17:00, 19 February 2025.

(2) Kochi Medical School Admission Office address

Kochi Medical School Admission Office

Kohasu, Oko-cho, Nankoku-shi783-8505

(Write “Application Forms” in red on the envelope.)

Applicants must contact their prospective academic adviser before applying.

(3) Application Documents

| | | |
|---|--|--|
| 1 | Application Form Curriculum Vitae | Use the prescribed form. |
| 2 | Entrance Examination Ticket Photograph Card | Please don't separate the cards. On the Photograph Card, paste a photograph of your upper body and face, facing forward, and no hats, taken within the past third months (4cm height and 3cm width) |
| 3 | Academic Record | The applicant should provide in a sealed envelope his/her academic record issued by the president of the applicant's university or other educational institution (or dean of a graduate school). Those applying for admission under application eligibility (8) are not required to submit this certificate. |
| 4 | Certificate of (expected) completion from the school last attended | Those applying for admission under application eligibility (2) or (8) are not required to submit this certificate. |
| 5 | Entrance Examination Fee (¥30,000) (Photocopy of the post office payment form and receipt ”振替払込請求書兼受領証”) | Pay via the post office (JP) using the attached post office payment form to the below bank account. After payment, the post office issues a receipt with official stamp. Submit photocopy of that receipt. (The entrance examination fee will not be reimbursed, whatever the reason.) Account Name: 高知大学 (Kochi University) Designated Bank: ゆうちょ銀行 (JP Bank) Bank Account Number: 01610-5-129391 *Please put your name and the program you apply for in the column “通信欄”. *It is the applicant's responsibility to bear charge related to transfer. *Please keep the original copy of payment form and receipt “振替払込請求書兼受領証”. * Those who will complete a master's course of Kochi University in March 2025 are exempt from paying the entrance examination fee. |
| 6 | Address Card | Use the prescribed form. |
| 7 | A stamped, self-addressed envelope | Write your name, contact address and postal code on the front side of a self-addressed no.3 rectangular envelope (23.5cm x 12cm) with 410yen* in postage attached. (※Charges may be revised). |
| 8 | Official score certificate of English proficiency test ※See (4) Notes on Application ⑦ official score certificates of English proficiency test. | Please submit any of the following documents. Digital Official Score Certificate of TOEIC Listening & Reading, Official Score Certificate of TOEIC Listening & Reading, Official Score Report of TOEFL iBT , Test Report |

| | |
|---|---|
| | Form of IELTS™. <u>If you cannot submit any of the above, you will be required to take English language proficiency test (TOEIC Listening & Reading IP test).</u> |
| 1. International students who are residing in Japan must also submit a photocopy of a certificate of residence issued by local authorities, documenting their nationality, status of residence, and period of stay. 2. Those who are conferred master degree under application eligibility (2), (3), (4), (6), (12) and (13) are required to submit a copy of diploma or a certificate of degree conferral (expected). | |

(4) Notes on Application

- ① The documents for application should be completed in full. Incomplete applications will not be accepted.
- ② The documents submitted for application will not be returned to the applicant and must not be modified or corrected in any way.
- ③ Any document written in a language other than Japanese or English is required to have an accompanying Japanese or English translation.
- ④ Should the information provided in the application documents being factually incorrect or should other improprieties be discovered in the documents submitted, the applicant will be deemed ineligible for the entrance examination and enrollment.
- ⑤ The application fee is not refundable under any circumstances.
- ⑥ Foreign students must contact the Medical School Admission Office before submitting the documents.
- ⑦ Official score certificate of English proficiency test

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● Digital Official Score Certificates of TOEIC Listening & Reading <ul style="list-style-type: none"> • Date of exam must be after April 2023. • Submit the printed copy of the Digital Official Score Certificate of TOEIC Listening & Reading issued by IIBC(TOEIC Secretariat). ● Original Copy of Accreditation Certificate of TOEIC Listening & Reading <ul style="list-style-type: none"> • Date of exam must be after April 2023. • Submit the original copy when applying for entrance exam (the photocopy or electronic copy is not valid). If you need to have the original copy returned later, please submit an envelope (24 mm x 332 mm size) to return with putting post stamp (JPY 180) when submitting all the application documents. • The following tests are not regarded as valid test type in terms of accreditation of TOEIC Listening & Reading TOEIC Listening & Reading IP Test / TOEIC Listening & Reading IP Test (online) / TOEIC Speaking & Writing Tests / TOEIC Speaking Test / TOEIC Writing Test / TOEIC Bridge Tests <p>If you cannot submit the original copy of score report or certificate to Kochi University admission office, please make sure to take TOEIC Listening & Reading IP Test.</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ● Official Score Report of TOEFL iBT <ul style="list-style-type: none"> • Please make sure to complete administrative process to request Educational Testing Service (hereinafter referred to as “ETS”) issue and send Official Score Report for the test you took after April 2023 directly to Kochi University-Admission Division beforehand, so that you can submit Official Score Report by the last day of application period (as it may take longer than 2 months for ETS to issue and send Official Score Report to Kochi University, please start the application as soon as possible). • Registration number (DI Code) of Kochi University-Admission Division is “2598”. All the faculties use the same code. <p>If Official Report Form do not arrive Kochi University from ETS by the last day of application period, please make sure to take TOEIC Listening & Reading IP Test.</p> |

● Test Report Form of IELTS™

- Please make sure to complete administrative process to request test conducting organization to issue and send Test Report Form for the test you took after April 2023 directly to Kochi University-Admission Division, so that you can submit Test Report Form by the last day of application period. Only “Academic Module” is valid for accreditation. If Test Report Form do not arrive Kochi University from the organization by the last day of application period, please make sure to take TOEIC Listening & Reading Test.

5. Selection procedure

Evaluation of the applicant will be based on his/her entrance examination and academic record.

(1) Entrance examination

| Date | Examination | Time |
|---|--|---------------------|
| First-entry admission: 16 August 2024 Second-entry admission: 26 January 2025 Third-entry admission: 11 March 2025 | English TOEIC Listening & Reading IP Test (Those who have NOT submitted required type of English Language Certificate or score report of English proficiency test, including TOEIC Listening & Reading test.) | 9:30 – 12:00 |
| | Prospective course-related examination (※) (oral or written examination) | |

(※) It is possible that we change the date of exam

(2) Notes on the Examination

- ① For further information about TOEIC Listening & Reading Test, please refer to the website (<https://www.iibc-lobal.org/toeic.html>)
- ② Applicants will be notified of the examination room and time when they receive their examination ticket.
- ③ See “Access to Oko Campus” for the location of the examination center and the available public transportation.
- ④ Examinees are not permitted to leave the examination room while the examination is in progress.
- ⑤ All sections of the examination must be taken in order to pass.
- ⑥ Applicants are not permitted to enter the examination room later than 20 minutes after the explanation for the examination has started.
- ⑦ Applicants must have their Entrance Examination Tickets with them on the day of the examination.
- ⑧ Cell phones and other electric devices must be switched off during the examination.
- ⑨ You will be disqualified, if you do not follow instructions by proctors, cheat or try to cheat on the exam.
If you cheat on the exam, we may report to police as victim.
- ⑩ The following items are permitted on the desk: black pencils, automatic pencils (black), erasers, a pencil sharpener, a simple watch, All the other items must be left at the designated area.
- ⑪ Supplementary examinations will not be held.

(3) Examination Center

Kochi Medical School (Kohasu, Oko-cho, Nankoku-shi,)

[合格者発表・入学手続等]

1 合格者発表

- (1) 第1次募集については2024年9月5日(木)、第2次募集については2025年2月12日(水)、第3次募集については2025年3月23日(日)に、合格者本人あて(住所票に記載された場所)に合格通知書を特定封筒郵便(レターパックライト)で送付します。
- (2) ホームページ上でも合格者発表を行います。情報提供サービスの一環として行うものです。必ず合格通知書をもって確認してください。
高知大学受験生サイト <https://nyusi.kochi-u.jp/>
- (3) 電話等による問い合わせには一切応じません。

2 入学手続等

合格者は、次のとおり入学手続を行ってください。
なお、入学手続についての詳細は、合格通知書と同時に送付します。

(1) 手続期間

- 【第1次募集】 2024年9月10日(火)から9月12日(木)
- 【第2次募集】 2025年2月17日(月)から2月19日(水)
- 【第3次募集】 2025年3月24日(月)から3月26日(水)

手続場所は医学部入試担当(講義棟1階)です。

持参の場合の受付時間は、8:30~17:00(土日は除く)。

(2) 入学手続書類

- ① 宣誓書(本専攻所定の様式)
- ② 学資負担者届(本専攻所定の様式)
- ③ 住民票記載事項証明書(本専攻所定の様式)
- ④ 身上調書(本専攻所定の様式、縦4cm×横3cmの写真を貼付)
- ⑤ 学生証交付願(本専攻所定の様式、縦4cm×横3cmの写真を貼付)
- ⑥ 最終出身学校の修了証明書及び成績証明書(高知大学修了生は不要)又は在学期間証明書(既に提出の場合は不要)
- ⑦-1 安全保障輸出管理に関する誓約書(本専攻所定の様式)
- ⑦-2 外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための特定類型該当性に関する誓約書(本専攻所定の様式)

(3) 入学料及び授業料(国費外国人留学生を除きます。)

1) 入学料について

高知大学では、令和5年度以降に入学する博士課程(応用自然科学専攻、医学専攻、黒潮圏総合科学専攻)の学生に対して、経済的支援として入学料を不徴収とすることとなりました。このことにより、医学専攻(博士課程)に入学する方は、**入学料は不要**となります。

2) 授業料について

授業料の納期は、第1学期分は5月中、第2学期分は11月中です。
納入は、本学指定の金融機関からの口座引き落としとなります。

第1学期分 267,900円 第2学期分 267,900円 (年額 535,800円)

※期限までに手続を完了しなかった場合は、5月及び11月に学資負担者へ請求書を送付します。
在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

Notification of Results and Admission Procedures

1. Notification of Results

- (1) The Notification of Results will be sent to successful candidates on September 5, 2024 (for 1st entry admission in April 2025), on February 12, 2025 (for 2nd entry admission in April 2025) or on March 23, 2025 (for 3rd entry admission in April 2025). In addition, all successful candidates will be notified by mail.
- (2) The list of successful candidates will be posted on the Kochi University website (<https://nyusi.kochi-u.jp/>). Although the list of successful candidates will be posted on the Kochi University website as part of our information service, the official notification of results will be posted by mail.
- (3) No inquiries will be accepted by telephone or other means.

2. Admission Procedures

The documents required for admission will be sent to the successful candidates.

(1) Period of entrance registration

1st entry admission: From 10 September 2024 to 12 September 2024

2nd entry admission: From 17 February 2025 to 19 February 2025

3rd entry admission: From 24 March 2025 to 26 March 2025

Place of entrance registration: Kochi Medical School Admission Office

If you wish to submit the documents in-person, please be noted that the business hours set between 8:30 am and 5:00 pm, except for weekend and national holidays.

(2) Documents Required

- ① Written Pledge (use the prescribed form*).
- ② Letter of Guarantee (use the prescribed form*).
- ③ Certificate of Residence.
- ④ Curriculum Vitae (use the prescribed form *; paste a 3×4cm photograph).
- ⑤ Application form for a student identification card (use the prescribed form *; paste a 3×4cm photograph).
- ⑥ Certificate of master's degree conferred and Academic Record or expected if it has not yet been submitted.
- ⑦-1 Pledge for Security Export Control (use the prescribed form)
- ⑦-2 Confirmation Letter regarding the Applicability of the Specific Categories for Compliance with Article 25 (1) and (2) of the Foreign Exchange and Foreign Trade Act (use the prescribed form) (only for those who have become a resident from a non-resident after 6 months have passed since entering Japan)

(3) Payment of entrance fee and tuition fee

-Entrance fee

From the 2023 academic year onward, entrance fees will not be charged to students enrolled in a doctoral course.

-Tuition fee (1st semester) ¥267,900 (¥535,800 for one year)

【financial support offered】

<https://www.kochi-u.ac.jp/campus/life/hukuri/inseikeizaishien.html>

[そ の 他]

1 障害等のある者の出願

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮及び修学上の支援を必要とする場合は、出願に先立ち、以下の方法により本学と事前相談を行うことが可能です。なお、相談内容によっては、対応に時間を要する場合や対応できない場合もありますので、出願前のできるだけ早い時期に相談してください。

修学支援の方法や内容は、障害の種類や修学環境等によって異なりますが、少なくともどのような支援が必要になるかを把握しておくことで、入学後の対応をスムーズに進めることができます。

本学では、障害学生の修学支援対応の準備時間はできるだけ多くあった方がよいとの観点から、出願前のできるだけ早い時期に、修学上の支援についてもご相談いただくことを推奨しています。

(1) 事前相談の時期

【第1次募集】 2024年6月21日(金)まで

【第2次募集】 2024年11月15日(金)まで

【第3次募集】 2025年1月16日(木)まで

※上記期限以降に理由が生じた場合や、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には期限以降でもご相談ください。

(2) 事前相談の方法

受験上の配慮・修学上の支援に関する事前相談の手順は、以下の①～⑥に従って進めます。

※日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合についても、試験における配慮の必要上、事前相談してください。

①電話もしくはメールによる相談

具体的に本学の受験を考える前の段階でも、受験上の配慮については(3)①の連絡先で、修学上の支援については(3)②に記載のインクルージョン支援推進室で、随時、電話・メール等による相談を受け付けています。

②「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」等の必要書類の確認

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮を必要とする場合や、入学後、修学上の支援を希望する場合は、①による相談の際に、本学で対応可能な措置や申請にあたり必要となる本学所定の様式「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」や「状況に応じて必要となる証明書(身体障害者手帳の写し、医師の診断書(発行後3か月以内のもの)」の提出について、お知らせします。

③「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」等の提出

「相談の期限」((1) 事前相談の時期 参照) までのできるだけ早い時期に、本学所定の様式「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」に必要事項を記入のうえ、証明書等を添えて (3) ①の連絡先まで提出してください。

※「本学所定の様式」等は、高知大学受験生サイト(<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/hairyo>)より、ダウンロードしてください。

(重複した障害や様式に明確にあてはまらない障害のある方は、障害等の状況を伝えやすい申請書様式を利用してください。)

④「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」への文書による回答

「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」をご提出いただくことにより、本学での対応について具体的な検討を開始します。進路選択の参考になるよう、出願時までには配慮・支援の内容を検討し、入試課から文書によって回答を発送します。内容によっては、出願時までには回答できない場合や、必ずしも希望

内容の全てに対応できない場合もありますので、ご了承ください。

⑤必要に応じて個別面談

必要に応じて、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等と直接面談を行います。

⑥その他

「相談の期限」((1) 事前相談の時期 参照) 以降に、受験上の配慮を要する理由が生じた場合は、期限以降でも (3) ①の連絡先へご相談ください。また、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には、(3) ②に記載のインクルージョン支援推進室までご相談ください。修学上の支援が必要かどうかの意思確認を行い、必要であればその内容を一緒に考えますので、できるだけ早く連絡することを推奨します。

(3) 連絡先

①高知大学医学部・病院事務部学生課入試室

〒783-8505 なんこくしおこうちようこはす
南国市岡豊町小蓮

TEL 088-880-2295 FAX 088-880-2296

②インクルージョン支援推進室に関する情報ならびに本学の障害者支援について

高知大学学び創造センター学生支援部門 インクルージョン支援推進室

〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号

TEL 088-888-8037

E-mail: shugakushien@kochi-u.ac.jp

URL: https://www.kochi-u.ac.jp/facilities/gakusei-shien/preuniversity_students/resources.html

(参考)

※ 受験上の配慮の例

- ・自家用車での入構, 駐車場の使用
- ・別室受験
- ・試験室をトイレ又は障害者用トイレの近くに設定
- ・座席を最前列, 最後列, 出入り口付近に設定
- ・介助者の試験室付近までの同伴, 介助者控室の準備
- ・試験時間の延長
- ・車椅子, 松葉杖の使用
- ・車椅子用機の準備
- ・補聴器の使用
- ・注意事項等の文書による伝達
- ・拡大鏡の使用
- ・問題冊子, 解答用紙の拡大

※ 修学上の支援の例(全ての支援を確約するものではありません)

(これまで高知大学として行った支援の例)

- ・欠席時の代替課題
- ・授業内支援(ICレコーダー使用・指示内容視覚化・資料配付・途中退室許可)
- ・教室環境(換気, 教室変更)
- ・移動支援(別移動手段)
- ・試験の別室受験・支援機器利用許可
- ・スケジュール管理サポート
- ・段差にスロープ設置

- ・教室に近い場所に送迎車の駐車スペース確保
(想定される支援の例)
- ・書類提出における介助者代筆許可
- ・聴覚障害等のある学生へのノートテイクなどの情報保障
- ・視覚障害のある学生への電子ファイルや点字・拡大資料提供
- ・リスニングが難しい学生についての他の形態の授業代替
- ・教育実習，病棟実習等の実習授業における実習施設の事前見学
- ・授業，講習，行事等での休憩の許可，休憩時間の延長許可

2 奨学金（外国人留学生を除きます。）

日本学生支援機構奨学生として選考のうえ，「大学院第一種奨学金」，「大学院第二種奨学金」として貸与される奨学金があります。

<問い合わせ先>高知大学医学部・病院事務部学生課学生支援係（電話 088-880-2268）

3 その他

(1) 個人情報の取扱い

「個人情報の保護に関する法律」に基づき，本学入学者選抜に用いた個人情報については，入学手続，入学者選抜・修学等に係る調査・研究等及び修学に係る用途にのみ使用し，他の目的に利用，又は提供することはありません。

(2) 募集要項に関して不明な点は，医学部入試担当に照会してください。

<問い合わせ先> 〒783-8505 ^{なんこくし おこうちようこほす}南国市岡豊町小蓮
高知大学医学部入試担当（電話 088-880-2295）

高知大学受験生サイト

<https://nyusi.kochi-u.jp/>

Other Notes

1. Reasonable Accommodations for Students with Disabilities

Applicants with disabilities who need reasonable accommodation for entrance exams as well as for the future education in Kochi University can request reasonable accommodation before application by the following steps. Since some testing accommodation requests will take time to be prepared, it is recommended that applicants with disabilities who request testing accommodation for entrance exam to contact us as early as possible.

Reasonable accommodation for applicants and students with disabilities depends on their disability conditions and the essential requirements of the curriculum. Therefore, prior understanding the disability conditions of applicants and students, as well as their requisite accommodation, helps to appropriately provide testing accommodation and reasonable accommodation after entering university. Kochi University recommends applicants with disabilities to consult with us as early as possible, even before the admission deadlines, because adequate preparation time will allow for appropriate and efficient accommodation for testing and educational settings.

(1) The period for prior consultation

1st entry Admission in April, 2025: June 21, 2024.

2nd entry Admission in April, 2025: November 15, 2024.

3rd entry Admission in April, 2025: January 16, 2025.

When unavoidable circumstances happen before and after taking entrance exams, please feel free to consult with us even after the deadline.

(2) Flow of prior consultation

Prior consultation for testing accommodation for entrance exams and reasonable accommodation for future education in Kochi University will generally follow the steps from (1) to (6):

※ Applicants who use some assistive equipment for disabilities (e.g., hearing aid, cochlear implant, prosthetics, a walking stick, wheelchair) should consult with us. If there is no consultation, you may not be allowed to bring such equipment to entrance exams.

① Please contact with us by phone or e-mail

Students with disabilities can consult with us anytime by phone, email, etc. even if they have not decided to take entrance exams. Please contact the relevant program (3)① for testing accommodation and (3)② for general information about reasonable accommodation.

② Please prepare the “Application for Testing Accommodation and Reasonable Accommodation for Disabilities” documents, and documents to prove your eligibility

Applicants with disabilities will be informed about documents required for applying for testing accommodations on entrance exams and reasonable accommodation for future education in Kochi University when you first contact us.

Documents required for applicants with disabilities are:

1) Application for Testing Accommodation and Reasonable Accommodation for Disabilities (There is designated format)

2) Medical certificate from the doctor or disability certificate[※] or the copy of Japanese Physical Disability Certificate (*Shintai Shogaisha Techo*) or the copy of Japanese Mental Disability Certificate (*Seishin Shogaisha Hoken Fukushi Techo*)

3) Other than the above, applicants with disabilities can submit documents which describe their disability condition in detail (e.g., opinions from parents and high school teachers).

※ Please submit a medical certificate from the doctor which is issued within three months, as a general rule.

- ③ Submit the Application for Testing Accommodation and Reasonable Accommodation for Disabilities
Please see the contact information below (i.e., (3)①) and submit the documents 1), 2), as 3) if applicable, as early as possible before the deadline (see “The period for prior consultation” on p. 15).
Download the form from the website:(<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/hairyo>).
- ④ Letter about decision on requested testing accommodation and results of simulation on prospective reasonable accommodations in educational settings in Kochi University
Kochi University starts to consider and discuss appropriate accommodations after submission of request forms and documents. We will send an official letter about the decision on requested testing accommodation and results of simulation on prospective reasonable accommodations in educational settings in Kochi University by the admission deadlines. Therefore, applicants with disabilities can use our letter for admission. However, please understand that the requested accommodation which constitutes a fundamental alteration or undue hardship may not be accommodated.
- ⑤ There may be an interview if needed
To provide appropriate accommodation, detailed information about applicants’ disability condition may be required. Therefore, we may conduct interviews with applicants and parents, if necessary.
- ⑥ Others
When unavoidable circumstances happen after the period of prior consultation (see p. 15), please feel free to consult with the Admission Office (i.e., (3) ①) even after the admission deadline. After taking entrance exams, if you have any consideration about reasonable accommodation, please contact with the Office for the promotion of inclusion and accessibility, Center for General Student Support (i.e., (3) ②)

(3) Contact Information

- ① Kochi Medical School Admission Office
Kohasu Oko-cho Nankoku-shi 783-8505
- ② Reasonable Accommodation for Students with Disabilities
Disability Support Office, Center for Creative Learning Development
5-1, Akebono-cho, Kochi 780-8520
TEL: 088-888-8037
E-mail: shugakushien@kochi-u.ac.jp
URL: https://www.kochi-u.ac.jp/facilities/gakusei-shien/preuniversity_students/resources.html

(References)

Examples of reasonable accommodation for entrance exams

- Permission for entry by a car and preparation for parking space
- Using another room
- Setting testing room near from multi-purpose bathroom
- Arrangement for preferred seating
- Permission for entry of disability assistant and preparation for waiting room for them
- Extended time accommodation
- Permission for bringing assistive equipment in test settings such as wheelchair, cane, hiring aid, magnifying Reading Glass, etc
- Preparation for adjustable or large desk
- Notification of important information by written documents
- Preparation for test with bigger font

Examples of reasonable accommodation for education

(Experienced Reasonable Accommodation)

- Providing equivalent tasks for absence which caused by disabilities
- Accessibility support in class settings (e.g., Permission for using IC recorder, notification of important information by written documents, providing lecture notes, permission for entry-exit during class)
- Mobility support
- Using another testing room
- Permission for bringing assistive equipment in class settings
- Support for schedule management
- Using portable wheelchair ramp
- Preparation for parking space near the buildings

(Possible Reasonable Accommodation)

- Permission for disability assistant to provide amanuensis
- Realtime captioning
- Providing slides or lecture note, and those with electronic data, braille or bigger font
- Providing alternate test format instead of listening test
- Pre-tour for educational and medical institutions for practical training course work
- Permission for taking break during class and university events

2. Scholarships (Not applicable for international students)

3. Other Notes

(1) All personal information submitted to Kochi University and used for the selection of students is managed in compliance with the Act on the Protection of Personal Information. The personal information is used only for purposes of enrollment procedures, screening and admission. It is not used for any other purpose and will not be provided to third parties.

(2) Contact

Kochi Medical School Admission Office
Kohasu Oko-cho Nankoku-shi 783-8505

医学専攻の研究内容の概要

目的

総合人間自然科学研究科医学専攻（博士課程）では、高い倫理観と豊かな人間性の涵養ならびに高度な医学的知識と技能の修得を教育理念とし、自然科学と人間科学のパラダイムをも取り入れた教育研究体制を構築することにより、多様な社会的ニーズに対する柔軟な対応が可能で、底辺が広くレベルが高い医学研究及び医療の達成を目指しつつ、高知県の地域特性に根差した医学・医療の推進に寄与できる人材、国際的に通用する優れた医学研究者、リサーチマインドを持つ優れた臨床専門医（良医）を養成することを目的とします。

1 生命科学コース

生命科学・医学に関する幅広い知識と高度な技術を体系的かつ組織的に身につけることにより、自立して研究活動を行うに必要な高度な研究能力とその基盤となる豊かな学識及び人間性並びに多様化した研究に対する指導能力を備えた人材を育成し、もって生命科学・医学の進歩と人類福祉の向上に資することのできる人材を育成します。

- 豊かな人間性、高い倫理観並びに高度な専門的知識・技術を身につけ、21世紀の人間社会に貢献できる人材を育成します。
- 高度な研究能力と豊かな学識に裏打ちされた創造性豊かな人材を育成します。
- 研究の成果を新しい医療に応用するという視点を持ち、トランスレーショナルリサーチを推進できる人材を育成します。
- 国際的な場での発表、討論、共同研究を推進することにより、国際的に活躍できる優れた人材を育成します。
- 東アジアをはじめとする海外からの留学生を積極的に受け入れ、将来を嘱望される研究者を育成するとともに、留学生との交流を通じて国際的な視野を持った人材を育成します。

[注]

| 研究指導教員 | 所属講座等 | 文系 | 理系 |
|----------------|-----------------|----|----|
| 中根 裕信 | 解剖学 | ○ | ○ |
| 村上 一郎 | 病理学 | — | ○ |
| 降幡 睦夫 | 病理学 | — | ○ |
| 山口 正洋 | 生理学 | ○ | ○ |
| 佐藤 隆幸 | 生理学 | — | ○ |
| (未定) | 生化学 | — | — |
| 麻生 悌二郎 | 遺伝子機能解析学 | ○ | ○ |
| 関 安孝 | 生体分子構造学 | — | ○ |
| 齊藤 源頭 | 薬理学 | ○ | ○ |
| 大畑 雅典 | 微生物学 | ○ | ○ |
| (未定) | 免疫学 | — | — |
| 坂本 修士 津田 雅之 | 総合研究センター(分子生物学) | — | ○ |
| 奥谷 文乃 | 地域看護学 | ○ | ○ |

[注] ○については、医学部医学科又は歯学部以外出身者の受け入れ可能を表します。
主たる研究内容については、www.kochi-u.ac.jp/kms/laboratories/ を参照ください。
研究指導教員が「(未定)」となっている講座等に、年度途中で教員が着任する場合があります。

2 医療学コース

科学の目覚ましい進歩は生命科学・医学の領域でも著しいが、その終局の目的は研究成果が人間に還元されることにあります。還元の場合である医療の現場では、医学というサイエンスに基づいた知識とアートとして熟練された臨床技術の両者が融合した医療技能による医療の実践が求められ、同時に、この実践を支える基盤としての医師・患者関係や医療システムの在り方が重要な意義を持つことになります。

本コースには、これらの課題に対応するため「臨床研究・臨床技術系」及び学際的な研究を目指す「予防医学・保健医療学系」の2つの系を設けています。

「臨床研究・臨床技術系」においては、臨床技術の客観的評価を設けた体系的な教育・研修プログラムを基盤とし、さらに臨床の現場で生じる課題に対する研究を通じて、リサーチマインドと高度な臨床技術を備えた医療技術者を養成し、また、「予防医学・保健医療学系」においては、臨床の場から生まれる問題をテーマとし、高度な医療技術の推進に資する研究者の育成を図ります。

- 「臨床研究・臨床技術系」では、医学・医療学領域において、豊かな人間性への理解と高い倫理性を持ち、医療現場から生じる医学的問題を鋭敏に感知して的確に解決する研究者を育成します。
また、豊かなリサーチマインドと的確な問題解決方法と能力、及び高い臨床技能を具備した専門医を養成します。
さらに、臨床医療において優秀な後進を育成する優れた指導者としての能力を有する人材を育成します。
- 「予防医学・保健医療学系」では、疫学、地域医療学、環境医学などの予防医学の専門家を養成する一方、健康医療・福祉に関連する社会的サービスや運営・管理、行政などの諸領域において、豊かな人間性と高い倫理性とともに強いリサーチマインドと的確な問題解決方法と能力、そして高度の専門的知識と技術を持って活躍し、さらに優秀な後進を育成する優れた指導者能力を有する人材を養成します。
- 両系を通じて、社会人を積極的に受け入れ、近年の医療学分野における急激な技術革新及び社会構造の変化に対応し得る人材を育成します。

[注]

| 研究指導教員 | 所属講座等 | 文系 | 理系 |
|--------|--------------|----|----|
| 山上 卓士 | 放射線診断・IVR学 | — | ○ |
| 木村 智樹 | 放射線腫瘍学 | — | ○ |
| 河野 崇 | 麻酔科学・集中治療医学 | — | ○ |
| 内田 一茂 | 消化器内科学 | — | ○ |
| 寺田 典生 | 内分泌代謝・腎臓内科学 | — | ○ |
| 藤本 新平 | 内分泌代謝・腎臓内科学 | ○ | ○ |
| (未定) | 呼吸器・アレルギー内科学 | — | — |
| 小島 研介 | 血液内科学 | — | ○ |
| 北岡 裕章 | 老年病・循環器内科学 | — | ○ |
| 松下 拓也 | 脳神経内科学 | — | ○ |
| 佐竹 悠良 | 腫瘍内科学 | ○ | ○ |
| 中井 浩三 | 皮膚科学 | — | ○ |
| (未定) | 小児思春期医学 | — | — |
| 前田 長正 | 産科婦人科学 | — | ○ |
| 數井 裕光 | 神経精神科学 | ○ | ○ |
| 瀬尾 智 | 消化器外科学 | — | ○ |
| 田村 昌也 | 呼吸器外科学 | — | ○ |
| 池内 昌彦 | 整形外科 | — | ○ |

[注] ○については、医学部医学科又は歯学部以外出身者の受け入れ可能を表します。
主たる研究内容については、 www.kochi-u.ac.jp/kms/laboratories/ を参照ください。
研究指導教員が「(未定)」となっている講座等に、年度途中で教員が着任する場合があります。

[注]

| 研究指導教員 | 所属講座等 | 文系 | 理系 |
|--------|------------------------------|----|----|
| 井上 啓史 | 泌尿器科学 | ○ | ○ |
| 山城 健児 | 眼科学 | — | ○ |
| (未定) | 耳鼻咽喉科学 | — | — |
| 上羽 哲也 | 脳神経外科学 | ○ | ○ |
| 山本 哲也 | 歯科口腔外科学 | — | ○ |
| 宮内 雅人 | 災害・救急医療学 | — | ○ |
| 山岸 由佳 | 臨床感染症学 | — | ○ |
| 瀬尾 宏美 | 医療学（予防医学・地域医療学分野） 【総合診療部】 | ○ | ○ |
| 浜田 幸宏 | 薬剤部 | ○ | ○ |
| 古宮 淳一 | 法医学 | — | ○ |
| 菅沼 成文 | 医療学（予防医学・地域医療学分野） | ○ | ○ |
| 安田 誠史 | 医療学（予防医学・地域医療学分野） | ○ | ○ |
| 小林 道也 | 医療学（医療管理学分野） | ○ | ○ |
| (未定) | 医療学（連繋医工学分野） | — | — |

[注] ○については、医学部医学科又は歯学部以外出身者の受け入れ可能を表します。
 主たる研究内容については、 www.kochi-u.ac.jp/kms/laboratories/ を参照ください。
 研究指導教員が「(未定)」となっている講座等に、年度途中で教員が着任する場合があります。

3 情報医療学コース

現在多くの医療施設に導入されている医療情報システムには、日々の医療行為に伴う膨大な電子化医療データが蓄積されています。これらのデータは、直接の診療に使われるだけでなく、多数の症例の横断的な解析に基づく医学研究においても、「病態予測」、「治療評価」、「診断支援」、「稀な事象の検出」などに活用されることが期待されています。

そうしたデータ活用のためには、病態をデータに基づいて理解するための医学的知識と、データと病態の関係を不確実性も含めて定量的に記述するための数理統計学的な知識や情報科学の知識などを身につけ、それらを自在に駆使して医療データの解析に対応できる人材が必要です。

本学医学部では、我が国初の病院情報システムとして自主開発された総合医療情報システムに1981年以来蓄積されたデータが、個人情報情報を匿名化した上で教育・研究用にデータベース化されています。本コースでは、このデータを大学院教育に活かし、医学専攻の基礎医学、臨床医学、医療情報を専門とする教員及び応用自然科学専攻の教員の緊密な連携のもとに、電子化医療データの解析に対応できる能力を身につける教育を行います。こうした教育により育成された人材が、様々な医療機関における電子化医療データを活用した病態推移予測や疾患因子発見などを通じて、疾病に対する後追いの医療ではない予見性の医療の実現に貢献することや、医療の質向上へ貢献することを目指します。

このように「情報医療学」コースは、「単に医療における情報を扱うのではなく、情報を活用して新たな医療の地平を切り拓くことができる」人材を育成することを目的としています。

上記の目的を達成するために、医学部、歯学部、修業年限6年の薬学もしくは獣医学を履修する課程や医学系大学院修士課程出身者の他、理系の修士課程修了者、経済学系大学院の修士課程で計量経済学、医療経済学などを専攻し数学的基礎を身に付けた学生も対象に、次のような人材を育成します。

- 豊かな人間性と高い倫理観を持ち、医学研究における倫理規範や法規範に基づく手順を遵守したデータ解析を行い、その結果によって社会に貢献できる人材を育成します。
- 広く豊かな学識と分野横断的な思考法を身につけ、高い研究能力によって大学や研究機関等で国際的に活躍できる人材や高度な専門職業人として医療機関、企業などで活躍できる柔軟な応用能力を有する人材を育成します。
- 研究の成果を医療に応用するという視点を持ち、トランスレーショナルリサーチを推進できる人材を育成します。

[注]

| 研究指導教員 | 所属講座等 | 文系 | 理系 |
|--------|----------|----|----|
| 畠山 豊 | 医学情報センター | ○※ | ○ |

[注] ○については、医学部医学科又は歯学部以外出身者の受け入れ可能を表します。

○※は、文系については経済学系大学院の修士課程で計量経済学、医療経済学などを専攻し、数学的基礎を身に付けた学生に限ります。

主たる研究内容については、www.kochi-u.ac.jp/kms/laboratories/ を参照ください。

4 小児神経精神医学コース

近年、発達障害は、発達のさまざまな段階で見られる適応困難や狭義の精神医学的問題の基盤にあり、リスクを有するケースの早期発見と早期診断の重要性が国際的な共通認識になっています。その重要性は、発達障害だけではなく境界域も含んだ知的障害、染色体異常に伴う行動表現型症候群、てんかん症候群、チック症なども同様に見られます。さらに、摂食障害、不安障害、児童虐待などによる子どもの心理的問題も年々増加し、専門的な対応が益々求められています。

本コースでは、上記の小児神経精神医学的疾患や障害を対象に、1) 疫学、病態、評価、治療、療育等について幅広い知識を身につけ、2) 専門診療を通じて適切な技能や態度を身につけ、3) 未解決の課題の研究を行うことにより研究能力を身につけることを目指します。そして、以上を通して研究指導能力を備え、発達障害等が抱えている広範な社会的問題の対処に当たれるような人材を育成します。

教育課程の一部は、協定校であるヨーテボリ大学（クリストファー・ギルバーク教授）と昭和大学医学部（加藤 進昌教授）と連携して行います。

- 小児神経精神医学的疾患や障害を、小児神経精神学的視点と児童精神医学的な側面から、かつ生物・心理・社会的な観点から診療することのできる人材を育成します。
- 医学的視点に限らず、教育的、福祉的視点を持ち、他職種との協力・共同の中で専門性を発揮することのできる人材を育成します。
- 臨床に根差し地域に還元できる研究を、国際的レベルで遂行できる人材を育成します。

[注]

| 研究指導教員 | 所属講座等 | 文系 | 理系 |
|--------|--------|----|----|
| 數井 裕光 | 神経精神医学 | ○ | ○ |

[注] ○については、医学部医学科又は歯学部以外出身者の受け入れ可能を表します。

ただし、医療系大学院修士課程修了者及び非医療系大学院において発達障害に関する研究で修士の学位を授与された者に限ります。

主たる研究内容については、 www.kochi-u.ac.jp/kms/laboratories/ を参照ください。

5 MD-PhDコース

近年、医学部の研究離れが問題となっています。研究という未来への知的投資を怠ると、将来、わが国の医療水準が低下し、医師の能力も劣化する恐れがあります。これを防ぐために、高知大学医学部医学科では、モチベーションが高く頭脳の柔軟な低学年の三年間に、正課の選択必修科目として『先端医療学コース』を開講しています。先端医療学コース履修者は、先端医療開発研究の現場において研究を体験し、その成果を論文にまとめる訓練を受け、4年生末に「医学研究に必要な基礎学力をもち、特定課題について十分な研究成果を得、研究論文を発表することができる」という評価基準を満たしていれば単位認定されます。

MD-PhDコースは、高知大学医学部医学科の卒業生で、先端医療学コースを履修した者が、卒後、大学院博士課程医学専攻においてさらに研究を深化発展させるためのコースです。MD-PhDコースでは、高度な専門知識に加えて広い視野をもつ医師・医学研究者を育成します。研究成果を世界に発信し、評価を受けるために必要なグローバルコミュニケーション能力を鍛錬します。グローバルコミュニケーション能力には、単に英語の会話や読み書きが出来るだけでなく、物事を論理的に考え発信することができる能力や、多様な考えや文化を理解し寛容する心も含まれます。臨床試験や動物実験に必要なデータマイニング能力と生物統計の知識、スキルも習得します。また、生命倫理やコンプライアンスに関する知識をもち、それを遵守する人格も含めた普遍的能力の涵養を行います。

【コース選択条件】

高知大学医学部医学科を卒業し、かつ『先端医療学コースⅣ』の単位を取得していること。

【養成する人材像】

本コースでの教育を通して、以下のような人材を養成します。

- ① 先端医療開発の中核を担う研究者として、他者と協調しながらも主体的に行動できる人材
- ② 柔軟な思考力と深い洞察力によって適切な課題を見出すことができる人材
- ③ 高度な専門知識のみならず、他分野に関する関心と豊かな学識をもち、俯瞰的な視点から問題解決ができる人材
- ④ 多様な文化・価値観、歴史・社会、自然・環境について理解し、国際的に通用するグローバルコミュニケーション能力を備えた人材

【研究指導教員・所属講座・主たる研究内容】

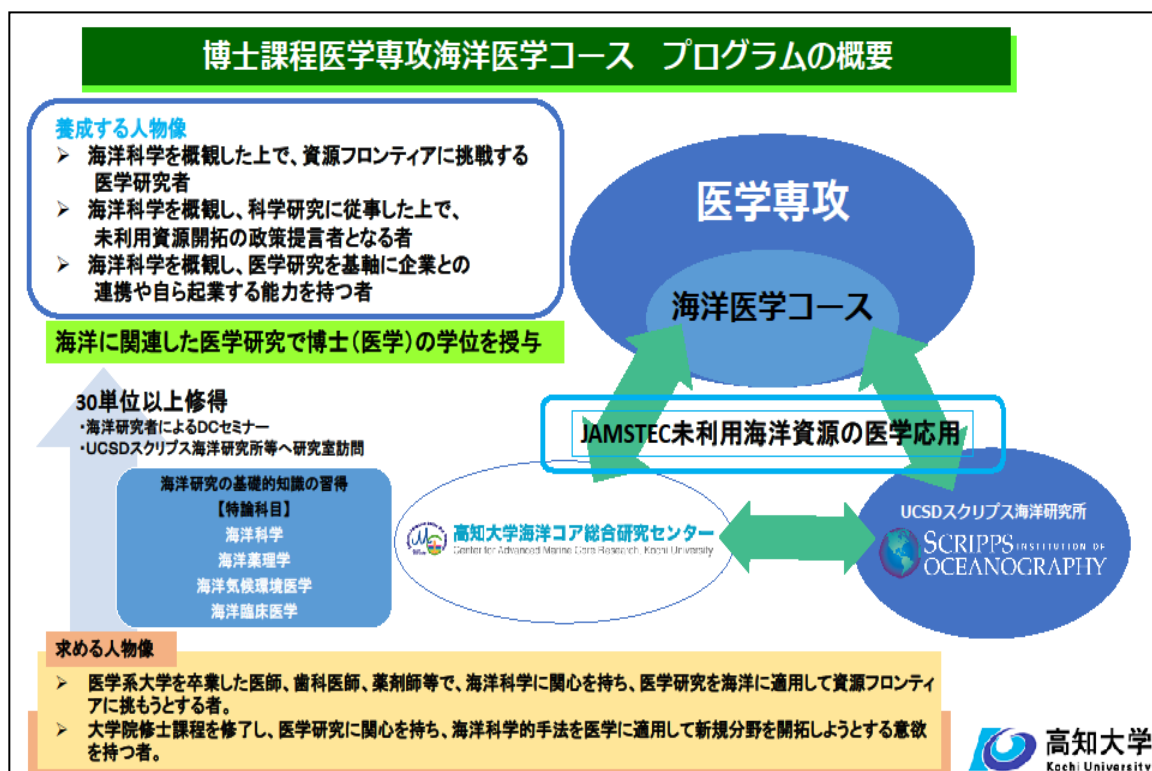
前掲の生命科学コース、医療学コース、情報医療学コースのいずれかの研究指導教員から研究指導を受けることができます。

6 海洋医学コース

海洋医学とは、海洋科学に関連した医学研究を意味しており、海洋未利用資源からの生理活性物質の発見と医学分野での応用、海洋気候の健康影響などをテーマとして取り組む研究領域です。

医学専攻においては、海洋をテーマとした研究活動が行われており、海洋深層水や海洋生物資源から抽出された有効成分を活用した医学研究等が実施されています。

医学研究は、基礎、臨床、社会医学の三種類に大別されますが、基礎医学的研究でin vitro, in vivoの研究を経て生理・薬理的な有効性を確認し、人間を対象とした臨床研究に進みます。また、気候を含めた環境因子による人間集団への健康影響を確認し、その対策を講じます。こうした3つの視点を全て含め、世界三大コアセンターの一つである高知大学海洋コア総合研究センターとのコラボレーションを活かしつつ海底資源を中心に海洋に関わるあらゆる医学的研究テーマを学ぶ場として海洋医学コースを開設しました。



[注]

| 研究指導教員 | 所属講座等 | 文系 | 理系 |
|--------|-------------------|----|----|
| 菅沼 成文 | 医療学（予防医学・地域医療学分野） | — | ○ |
| 齊藤 源頭 | 薬理学 | — | ○ |

[注] ○については、医学部医学科又は歯学部以外出身者の受け入れ可能を表します。

主たる研究内容については、www.kochi-u.ac.jp/kms/laboratories/ を参照ください。

カリキュラム

1 修了要件

本専攻の修了要件は、原則として4年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士（医学）の学位を授与します。

ただし、在学期間に関しては、審査のうえ、優れた業績をあげたと認められる者については、3年以上在学すれば足りるものとします。

2 履修方法

生命科学コース

専攻内共通科目6単位、特別研究科目10単位、基礎科目8単位以上、専門科目6単位以上、合計30単位を履修するものとします。

ただし、他コースの専門科目を履修した場合は、2単位を超えない範囲で当該コースの専門科目の単位とすることができます。

なお、教育方法の特例を受ける学生は、専攻内共通科目「医学英語演習」2単位を基礎科目「細胞分子生物学Ⅰ」2単位に換えることができます。

医療学コース

専攻内共通科目（「生命・医療倫理学」は必修、その他の科目は3単位以上選択必修）から4単位以上、特別研究科目10単位、基礎科目4単位以上、専門科目2分野12単位以上、合計30単位以上を履修するものとします。

ただし、他コースの専門科目を履修した場合は、2単位を超えない範囲で当該コースの専門科目の単位とすることができます。

また、医療学コースには、臨床腫瘍学を研究する学問分野（※）があります。

情報医療学コース

専攻内共通科目（「医学英語演習」は選択、「医学統計学」及び「生命・医療倫理学」は必修、その他の科目は履修対象外）の必修科目から2単位、特別研究科目10単位、基礎科目の必修科目8単位（「動的動態力学Ⅰ」、「動的動態力学Ⅱ」は必須）、専攻内共通科目及び基礎科目の選択科目と専門科目から10単位以上、合計30単位以上を履修するものとします。

ただし、他コースの専門科目を履修した場合は、2単位を超えない範囲で当該コースの専門科目の単位とすることができます。

小児神経精神医学コース

専攻内共通科目（「生命・医療倫理学」は必修、その他の科目は2単位以上選択必修）から3単位以上、特別研究科目10単位、基礎科目の必修科目5単位、基礎科目と専門科目の選択科目から10単位以上、合計30単位以上を履修するものとします。

MD-PhDコース

専攻内共通科目（医学英語演習、バイオインフォーマティクス(Ⅰ)、医学統計学、生命・医療倫理学)5単位、特別研究科目10単位、基礎科目と専門科目は専門分野に応じて生命科学コース、医療学コース、情報医療学コース、小児神経精神医学コースの授業科目から選択し、基礎科目4単位以上、専門科目10単位以上、また全コース科目の基礎科目もしくは専門科目又は、専攻内共通科目より1単位以上、合計30単位以上を履修するものとします。

海洋医学コース

専攻内共通科目6単位、特別研究科目10単位、基礎科目6単位以上（「海洋科学」の2単位は必修）、専門科目8単位以上（「海洋薬理学」「海洋気候環境医学」「海洋臨床医学」の6単位は必修）、合計30単位以上を履修するものとします。

なお、教育方法の特例を受ける学生（社会人の特別選抜）は、専攻内共通科目「医学英語演習」2単位を基礎科目「細胞分子生物学Ⅰ」2単位に換えることができます。

(※) 臨床腫瘍学を研究する学問分野

医療学コースで、臨床腫瘍学を専門とする研究を希望する学生（がんプロ学生）については、①臨床腫瘍専門医分野、②放射線治療専門医分野、③腫瘍専門外科医分野、④がん専門薬剤師分野について履修することができます。授業科目や履修方法等が他のコースと異なりますので授業科目表を参照してください。

なお、①～③の分野は医師免許、④の分野は薬剤師免許を取得していることが履修条件です。

『がんプロ』について

平成19年度から、文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン、平成24年度からは、文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン、平成29年度からは、多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）養成プラン」で採択された「全人的医療を行う高度がん専門医療人養成プログラム」の各5年間3期にわたる補助事業を実施してきました。さらに、これまでの3期の実績が認められ、令和5年度以降6年間にわたり文部科学省大学教育再生戦略推進費「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」に岡山大学を主幹校とする中国・四国の拠点が採択され、第4期の事業として開始しており、これらの事業を総称して、「がんプロ」と呼んでいます。

第4期の事業は、第4期がん対策推進基本計画が目指す「誰一人取り残さないがん対策」を推進できる人材育成を目指しています。がん患者数の増加、治療の進歩に伴い医療の現場で顕在化している課題やがん予防の推進、新たな治療法の開発は重要課題となっており、中国・四国地方においても高いレベルでそれらを理解し、適切な医療を提供できる医療人の養成が必要とされています。さらに、がん患者の求める全人的医療を実践するためには、各々が高度な技術と知識を持った上で、チームとして連携し、がん診療を提供する多職種連携教育が重要となります。本事業では中国・四国の11大学が参画するコンソーシアムを組織し、上記課題に対応できる卓越したがん専門医療人の人材育成にあたります。

- 文部科学省が公募していた令和5年度「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」に、岡山大学を主幹校として中国・四国地方9県の11大学が連携した中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムのプロジェクト「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」が採択され、高知大学はその一翼を担っています。
- 「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」事業は、令和5年3月に閣議決定された「第4期がん対策推進基本計画」の人材育成強化の施策であり、がん専門医療人材を養成する拠点を大学間連携により形成することを目的としています。
- 全国で11拠点が採択されており、「第4期がん対策推進基本計画」が目標としている「がん予防」、「がん医療」および「がんと共生」を推進できるがん専門医療人材を育成して行きます。

取り組み内容は、以下のURLからご覧いただけます。

<https://www.chushiganpro.ccsv.okayama-u.ac.jp/>

3 授業科目

授業科目表を参照してください。

4 社会人に関する授業の特例

総合人間自然科学研究科医学専攻（博士課程）では、医学、医療分野等で勤務する社会人に対して高度の知識、研究能力を修得する機会を与えるための、夜間その他特定の時期に授業・研究指導を行う教育方法の特例による「昼夜開講制」を導入しています。〔大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第14条に定める教育方法の特例を適用〕

また、コース横断的に開講される専攻内共通科目に関しては、全てオンライン（同期型もしくは非同期型）で受講することができます。コース別の専門科目（選択科目）に関しては、各科目の特殊性に応じて授業の一部または全部をオンラインで受講することが出来る場合があります。

いずれのコースも遠隔地（海外含む）居住者でも可能な限り、無理なく修学できる環境をオンラインによって実現できるよう工夫を行っておりますが、個別の科目のオンラインでの受講可否については、指導教員予定者を通じてあらかじめ確認をお願いします。

5 学位の授与

博士（医学）の学位が授与されます。

長期履修学生制度について

総合人間自然科学研究科医学専攻（博士課程）の修業年限は4年を標準とします。

職業を有している等の事情で履修可能な授業単位数や研究指導を受ける時間が制約され、標準修業年限の4年では十分な研究時間が確保できない可能性がある場合、又は、十分な履修時間・研究時間が確保できず4年を超えてしまつては授業料が余分にかかることになり、経済的に修学が困難になる可能性がある方のために、標準修業年限の4年を超えて計画的な履修を可能とした長期履修学生制度を実施しています。

この制度により授業料は、標準修業年限の4年間で支払うべき総額を、計画的な履修を認められた期間内で均等に分割して支払うこととなります。

また、この制度は、入学後の事情の急変（就職、転勤等）にも対応し、事情によっては、長期履修期間の変更（短縮、再延長）を認められることもあります。

この制度の適用を希望する場合は、申請書類により定められた期限までに申し込んでください。

<問い合わせ先>高知大学医学部・病院事務部 学生課大学院係（電話 088-880-2263）

授業科目表

・生命科学コース

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | 授業形態 | | | 修了要件 単位数 |
|-------------|----------------|---------|-----|----|------|----|------------|-------------|
| | | | 必修 | 選択 | 講義 | 演習 | 実習 | |
| 専攻内 共通科目 | 医学英語演習 | 1 | 2 | | | 2 | | 6単位 |
| | バイオインフォマティクスⅠ | 1 | 1 | | 1 | | | |
| | 医学研究法 | 1 | 1 | | 1 | | | |
| | 医学統計学 | 1 | 1 | | 1 | | | |
| | 生命・医療倫理学 | 1 | 1 | | 1 | | | |
| 特別研究科目 | 特別研究計画立案 | 1・2 | 2 | | | 2 | | 10単位 |
| | 特別研究実験・調査 | 1・2 | 2 | | | 2 | | |
| | 特別研究ゼミナール | 1・2・3・4 | 2 | | | 2 | | |
| | 特別研究総括 | 3・4 | 4 | | | 4 | | |
| 基礎科目 | 細胞分子生物学Ⅰ(英語読解) | 1・2 | | 2 | | 2 | | 8単位 以上 |
| | 細胞分子生物学Ⅱ(英語読解) | 1・2 | | 2 | | 2 | | |
| | 基礎神経解剖学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎病理学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎神経生理学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎循環器生理学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎生化学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎分子生物学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 分子生物物理学 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 基礎薬理学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎微生物学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | | 3 | |
| | 基礎寄生虫学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎免疫学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎生命機能解析法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | バイオインフォマティクスⅡ | 1・2 | | 4 | 2 | 2 | | |
| 基礎神経心理学実験法 | 1・2 | | 4 | 2 | 1 | 1 | | |
| 専門科目 | 神経系における情報伝達機構 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | 6単位 以上 |
| | 悪性腫瘍の病理 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 神経可塑性の分子機構 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 循環制御機構と機能再建 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 生体膜における糖鎖機能 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 転写制御機構と発癌 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 下部尿路の機能制御 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 微生物感染の病態と発癌 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 寄生虫感染の病態と疫学 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 自己、非自己認識と腫瘍免疫 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 分子生物学 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 遺伝子情報解析 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 脳内における感覚情報処理過程 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| 修了要件単位数 計 | | | | | | | 30単位 以上 | |

・医療学コース(臨床腫瘍学を専門とする分野を除く。)

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | 授業形態 | | | 修了要件 単位数 |
|------------|----------------|----------|-------|----|------|----|----|---------------|
| | | | 必修 | 選択 | 講義 | 演習 | 実習 | |
| 専攻内共通科目 | 医学英語演習 | 1 | | 2 | | 2 | | 4単位以上 |
| | バイオインフォマティクスⅠ | 1 | | 1 | 1 | | | |
| | 医学研究法 | 1 | | 1 | 1 | | | |
| | 医学統計学 | 1 | | 1 | 1 | | | |
| | 生命・医療倫理学 | 1 | 1 | | 1 | | | |
| 特別研究科目 | 特別研究計画立案 | 1・2 | 2 | | | 2 | | 10単位 |
| | 特別研究実験・調査 | 1・2 | 2 | | | 2 | | |
| | 特別研究ゼミナール | 1・2・3・4 | 2 | | | 2 | | |
| | 特別研究総括 | 3・4 | 4 | | | 4 | | |
| 基礎科目 | 細胞分子生物学Ⅰ(英語読解) | 1・2 | | 2 | | 2 | | 4単位以上 |
| | 細胞分子生物学Ⅱ(英語読解) | 1・2 | | 2 | | 2 | | |
| | 基礎神経解剖学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎病理学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎神経生理学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎循環器生理学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎生化学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎分子生物学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 分子生物物理学 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 基礎薬理学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎微生物学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | | 3 | |
| | 基礎寄生虫学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎免疫学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎生命機能解析法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | バイオインフォマティクスⅡ | 1・2 | | 4 | 2 | 2 | | |
| | 基礎神経心理学実験法 | 1・2 | | 4 | 2 | 1 | 1 | |
| | 臨床遺伝学 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 医療管理学 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 医療情報システム学 | 1・2 | | 4 | 2 | 2 | | |
| | 臨床心理学 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| 社会医学特論 | 1・2 | | 1 | 1 | | | | |
| 疫学研究法 | 1・2 | | 3 | 1 | | 2 | | |
| ヘルスケアシステム論 | 1・2 | | 3 | 1 | | 2 | | |
| 専門科目 | 1. 消化器分野 | 消化器病学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 | 2分野 12単位以上 |
| | | 膵臓病学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 | |
| | | 肝臓病学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 | |
| | | 消化器免疫学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 | |
| | | 消化器外科学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 | |
| | 2. 内分泌代謝分野 | 内分泌代謝病学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 1 | 1 | |
| | | 糖尿病学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 1 | 1 | |
| | | 生活習慣病 | 1・2・3 | 3 | 1 | 1 | 1 | |
| | 3. 腎泌尿器分野 | 腎臓病学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 1 | 1 | |
| | | 泌尿器科学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 | |
| | 4. 血液・造血管器分野 | 血液病学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 | |
| | | 輸血・細胞治療学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 | |
| | 5. 呼吸器分野 | 呼吸器病学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 | |
| | | 呼吸器外科学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 1 | 1 | |

| | | | | | | | |
|--------------------------------------|------------------|----------------|-------|---|---|---|---|
| 専 門 科 目 臨床研究・臨床技術系科目 | 6. 循環器・老年病分野 | 循環器病学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 老年病学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 心臓血管外科学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | 7. 皮膚・免疫・アレルギー分野 | 皮膚科学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | アレルギー学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 臨床免疫学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | 8. 脳・神経分野 | 脳神経外科学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 脳神経内科学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | 9. 小児科分野 | 小児科学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 成育医療概論 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 小児神経学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 新生児学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 小児感染症学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 小児血液・腫瘍学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 思春期心身医学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 小児腎臓病学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 小児アレルギー学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 小児循環器学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 小児膠原病学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 小児外科学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | 10. 精神科分野 | 精神科学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 心身医学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | 11. 運動器分野 | 整形外科 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 脊椎脊髄病学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | |
| | | 運動器リハビリテーション医学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | 12. 生殖器分野 | 周産期学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | |
| | | 生殖医療学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | |
| | | 婦人科腫瘍学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | |
| | | 骨盤内視鏡手術・ロボット | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 女性ヘルスケア | 1・2・3 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| | 13. 眼・視覚分野 | 眼科学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 眼部マイクログ手術学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | レーザー医療学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 眼免疫学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | 14. 耳鼻・咽喉科分野 | 耳鼻咽喉科学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 神経耳科学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 鼻科学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 頭頸部感覚器外科学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | 15. 口腔外科分野 | 口腔外科学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 口腔内科学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 口腔腫瘍学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | 16. 麻酔科分野 | 麻酔学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 集中治療学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | 17. 放射線医学分野 | 放射線物理学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 放射線診断学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 放射線腫瘍学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | 18. 再建医学分野 | 人工臓腑 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 肝移植学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 人工関節学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 人工水晶体学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 人工聴器学 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | | 移植免疫学概論 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 |
| | 神経再生医療 | 1・2・3 | 3 | 1 | | 2 | |

2分野
12単位
以上

| | | | | | | | | | |
|------------------|---------------|----------------|--------------|-------|---|---|---|-------------------|---|
| 専 門 科 目 | 臨床研究・臨床技術系科目 | 19. 悪性腫瘍学分野 | ヒト癌の診断と集中治療学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | 2分野 12単位 以上 | |
| | | | 腫瘍の増殖と制御 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | |
| | | 20. 検死診断学分野 | 法医診断学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | |
| | | | 中毒法病理学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | |
| | | | 外傷法病理学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | |
| | | 21. 薬物治療学分野 | 薬物治療学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | |
| | | 22. プライマリ・ケア分野 | プライマリ・ケア医学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | |
| | | 23. 病理専門医分野 | 病理診断学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | |
| | | 24. 臨床検査分野 | 臨床化学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | |
| | | | 臨床生理学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | |
| | | | 微生物学的検査診断 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | |
| | | 25. 臨床生理診断分野 | 臨床生理診断学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | |
| | | 26. 臨床感染症学分野 | 臨床感染症学 | 1・2・3 | 2 | 2 | | | |
| | | 27. 臨床微生物学分野 | 臨床細菌・真菌学 | 1・2・3 | 1 | 1 | | | |
| | | | 臨床ウイルス学 | 1・2・3 | 1 | 1 | | | |
| | | 28. 画像診断分野 | 形態画像診断学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | |
| | 機能・代謝画像診断学 | | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | | |
| | 29. 内視鏡診断分野 | 消化器内視鏡学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | | |
| | | 呼吸器内視鏡学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | | |
| | 30. 内視鏡手術分野 | ドライラボ | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | | |
| | | シミュレーション | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | | |
| | 31. マイクロ手術分野 | 頭頸部マイクロ手術学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | | |
| | | 皮膚マイクロ手術学 | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | | |
| | 32. IVR分野 | IVR | 1・2・3 | 3 | 1 | 2 | | | |
| | 予防医学・保健医療学系科目 | 1. 環境医学分野 | 環境保健学 | 1・2 | 3 | 1 | 1 | | 1 |
| | | | 臨床中毒学 | 1・2 | 3 | 1 | 1 | | 1 |
| | | | リスク評価・制御論 | 1・2 | 3 | 1 | 1 | | 1 |
| | | 2. 疫学・情報解析学分野 | 疫学 | 1・2 | 3 | 1 | 2 | | |
| | | | 保健医療福祉情報解析学 | 1・2 | 3 | 1 | 2 | | |
| | | 3. 産業保健学分野 | 産業保健学 | 1・2 | 3 | 1 | 1 | | 1 |
| | | 4. 地域保健医療分野学 | 地域保健福祉システム論 | 1・2 | 3 | 1 | 2 | | |
| | | | 医療・介護保険と年金論 | 1・2 | 3 | 1 | 2 | | |
| 高齢者保健医療介護論 | | | 1・2 | 3 | 1 | 2 | | | |
| 5. 連繫医工学分野 | | ヘルスケアロボティクス | 1・2 | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| | | 先端医用画像情報解析 | 1・2 | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| 6. 看護学分野 | | 国際精神保健看護 | 1・2 | 3 | 1 | 2 | | | |
| | | 人間科学とヒューマンケア | 1・2 | 3 | 2 | 1 | | | |
| | | 家族看護学特論 | 1・2 | 3 | 1 | 1 | 1 | | |
| 修了要件単位数 計 | | | | | | | | 30単位 以上 | |

・医療学コース(臨床腫瘍専門医分野)

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | 授業形態 | | | 修了要件単位数 | 備考 | |
|-----------------------------|---|-----------------|-----------------|-------|------|----|------------|---------|---|------------|
| | | | 必修 | 選択 | 講義 | 演習 | 実習 | | | |
| 臨床腫瘍学を専門とする分野 共通コアカリキュラム | 研究方法論 | 1 | 1 | | 1 | | | 4単位 | 実習を含む 演習を含む | |
| | 悪性腫瘍の管理と治療 | 1 | 1 | | 1 | | | | | |
| | 医療倫理 | 1 | 0.5 | | 0.5 | | | | | |
| | 医療対話学 | 1 | 0.5 | | 0.5 | | | | | |
| | がんチーム医療概論 | 1 | 0.5 | | | | 0.5 | | | |
| | 医療情報学 | 1 | 0.5 | | 0.5 | | | | | |
| がん専門医・薬剤師 共通科目 | がんのベーシックサイエンスと臨床薬理学 (がんのベーシックサイエンスと治療戦略) | 2 | 1 | | 1 | | | 4単位 | 実習を含む | |
| | 臨床検査・病理診断・放射線診断学 | 2 | 0.5 | | 0.5 | | | | | |
| | 臓器別がん治療各論 | 2 | 2 | | 2 | | | | | |
| | がん緩和治療 (がん緩和医療) | 2 | 0.5 | | 0.5 | | | | | |
| 臨床腫瘍専門医科目 | 臨床腫瘍学 演習科目 | 化学療法演習 | 1・2・3 | 1 | | | 1 | 4単位 | 専門科目 12単位以上(必修4 単位及び専門とする 特論及び演習各 4単位又は各2単 位を含むものとする。) | |
| | | 緩和医療演習 | 1・2・3 | 1 | | | 1 | | | |
| | | 放射線療法演習 | 1・2・3 | 1 | | | 1 | | | |
| | | キャンサーボード演習 | 1・2・3 | 1 | | | 1 | | | |
| | 専門 科目 | 臨床腫瘍概論 | 臨床腫瘍概論 | 1・2・3 | 4 | | 4 | | | 12単位 以上 |
| | | | 固形がん特論 | 1・2・3 | | 4 | 4 | | | |
| | | 固形がん演習 | 1・2・3 | | 4 | | 4 | | | |
| | | 呼吸器腫瘍特論 | 呼吸器腫瘍特論 | 1・2・3 | | 2 | 2 | | | |
| | | | 呼吸器腫瘍演習 | 1・2・3 | | 2 | | 2 | | |
| | | 造血器腫瘍特論 | 造血器腫瘍特論 | 1・2・3 | | 2 | 2 | | | |
| | | | 造血器腫瘍演習 | 1・2・3 | | 2 | | 2 | | |
| | | 乳腺特論 | 乳腺特論 | 1・2・3 | | 4 | 4 | | | |
| | | | 乳腺演習 | 1・2・3 | | 4 | | 4 | | |
| | | 消化器がん特論(臨床腫瘍専門) | 消化器がん特論(臨床腫瘍専門) | 1・2・3 | | 4 | 4 | | | |
| | 消化器がん演習(臨床腫瘍専門) | | 1・2・3 | | 4 | | 4 | | | |
| 研究演習 科目 (特別研究) | 特別研究ゼミナール | 1・2・3・4 | 2 | | | 2 | 6単位 | | | |
| | 臨床腫瘍学研究演習 | 3・4 | 4 | | | 4 | | | | |
| 修了要件単位数 計 | | | | | | | 30単位 以上 | | | |

・医療学コース(放射線治療専門医分野)

| 科目区分 | 授業科目の名称 | | 配当年次 | 単位数 | | 授業形態 | | | 修了要件単位数 | 備考 | |
|-----------------------------|---|-----------|----------|-------|----|------|----|--------|---------|--------------------------|--------|
| | | | | 必修 | 選択 | 講義 | 演習 | 実習 | | | |
| 臨床腫瘍学を専門とする分野 共通コアカリキュラム | 研究方法論 | | 1 | 1 | | 1 | | | 4単位 | 実習を含む 演習を含む | |
| | 悪性腫瘍の管理と治療 | | 1 | 1 | | 1 | | | | | |
| | 医療倫理 | | 1 | 0.5 | | 0.5 | | | | | |
| | 医療対話学 | | 1 | 0.5 | | 0.5 | | | | | |
| | がんチーム医療概論 | | 1 | 0.5 | | | | 0.5 | | | |
| | 医療情報学 | | 1 | 0.5 | | 0.5 | | | | | |
| がん専門医・薬剤師 共通科目 | がんのベーシックサイエンスと臨床薬理学 (がんのベーシックサイエンスと治療戦略) | | 2 | 1 | | 1 | | | 4単位 | 実習を含む | |
| | 臨床検査・病理診断・放射線診断学 | | 2 | 0.5 | | 0.5 | | | | | |
| | 臓器別がん治療各論 | | 2 | 2 | | 2 | | | | | |
| | がん緩和治療 (がん緩和医療) | | 2 | 0.5 | | 0.5 | | | | | |
| 放射線治療専門医科目 | 演習科目 臨床腫瘍学 | 化学療法演習 | 1・2・3 | 1 | | | 1 | | 4単位 | 専門とする特論及び演習各6単位を含むものとする。 | |
| | | 緩和医療演習 | 1・2・3 | 1 | | | 1 | | | | |
| | | 放射線療法演習 | 1・2・3 | 1 | | | 1 | | | | |
| | | がんボード演習 | 1・2・3 | 1 | | | 1 | | | | |
| | 専門科 目 | 放射線治療特論 | 放射線治療特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | 12単位以上 |
| | | | 放射線治療演習 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | | 脳腫瘍 | 脳腫瘍特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | | | 脳腫瘍演習 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | | 頭頸部がん | 頭頸部がん特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | | | 頭頸部がん演習 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | | 骨・軟部腫瘍 | 骨・軟部腫瘍特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | | | 骨・軟部腫瘍演習 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | | 乳がん | 乳がん特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | | | 乳がん演習 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | | 肺がん | 肺がん特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | | | 肺がん演習 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | | 食道がん | 食道がん特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | | | 食道がん演習 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | | 婦人科がん | 婦人科がん特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | | | 婦人科がん演習 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | | 泌尿器科がん | 泌尿器科がん特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | | | 泌尿器科がん演習 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | | 悪性リンパ腫 | 悪性リンパ腫特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | | | 悪性リンパ腫演習 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | |
| | 増感放射線療法 | 増感放射線療法特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | | |
| | | 増感放射線療法演習 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | | |
| | 良性腫瘍その他 | 良性腫瘍その他特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | | |
| | | 良性腫瘍その他演習 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | | |
| 研究演習科目 (特別研究) | 特別研究ゼミナール | 1・2・3・4 | 2 | | | 2 | | 6単位 | | | |
| | 放射線治療学研究演習 | 3・4 | 4 | | | 4 | | | | | |
| 修了要件単位数 計 | | | | | | | | 30単位以上 | | | |

・医療学コース(腫瘍専門外科医分野)

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | 授業形態 | | | 修了要件単位数 | 備考 | |
|-----------------------------|---|------------|----------|-------|------|----|--------|---------|--------------------------|--------|
| | | | 必修 | 選択 | 講義 | 演習 | 実習 | | | |
| 臨床腫瘍学を専門とする分野 共通コアカリキュラム | 研究方法論 | 1 | 1 | | 1 | | | 4単位 | 実習を含む 演習を含む | |
| | 悪性腫瘍の管理と治療 | 1 | 1 | | 1 | | | | | |
| | 医療倫理 | 1 | 0.5 | | 0.5 | | | | | |
| | 医療対話学 | 1 | 0.5 | | 0.5 | | | | | |
| | がんチーム医療概論 | 1 | 0.5 | | | | 0.5 | | | |
| | 医療情報学 | 1 | 0.5 | | 0.5 | | | | | |
| がん専門医・薬剤師 共通科目 | がんのベーシックサイエンスと臨床薬理学 (がんのベーシックサイエンスと治療戦略) | 2 | 1 | | 1 | | | 4単位 | 実習を含む | |
| | 臨床検査・病理診断・放射線診断学 | 2 | 0.5 | | 0.5 | | | | | |
| | 臓器別がん治療各論 | 2 | 2 | | 2 | | | | | |
| | がん緩和治療 (がん緩和医療) | 2 | 0.5 | | 0.5 | | | | | |
| 腫瘍専門外科医科目 | 臨床腫瘍学 演習科目 | 化学療法演習 | 1・2・3 | 1 | | | 1 | 4単位 | 専門とする特論及び演習各6単位を含むものとする。 | |
| | | 緩和医療演習 | 1・2・3 | 1 | | | 1 | | | |
| | | 放射線療法演習 | 1・2・3 | 1 | | | 1 | | | |
| | | キャンサーボード演習 | 1・2・3 | 1 | | | 1 | | | |
| | 専門科目 | 消化器がん | 消化器がん特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | 12単位以上 |
| | | | 消化器がん演習 | 1・2・3 | | 6 | | 6 | | |
| | | 頭頸部がん | 頭頸部がん特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | |
| | | | 頭頸部がん演習 | 1・2・3 | | 6 | | 6 | | |
| | | 骨・軟部腫瘍 | 骨・軟部腫瘍特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | |
| | | | 骨・軟部腫瘍演習 | 1・2・3 | | 6 | | 6 | | |
| | | 皮膚がん | 皮膚がん特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | |
| | | | 皮膚がん演習 | 1・2・3 | | 6 | | 6 | | |
| | | 泌尿器科がん | 泌尿器科がん特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | |
| | | | 泌尿器科がん演習 | 1・2・3 | | 6 | | 6 | | |
| | | 婦人科がん | 婦人科がん特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | |
| | | | 婦人科がん演習 | 1・2・3 | | 6 | | 6 | | |
| | | 肺がん | 肺がん特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | |
| | | | 肺がん演習 | 1・2・3 | | 6 | | 6 | | |
| | | | 乳がん特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | |
| | | | 乳がん演習 | 1・2・3 | | 6 | | 6 | | |
| 脳腫瘍 | 脳腫瘍特論 | 1・2・3 | | 6 | 6 | | | | | |
| | 脳腫瘍演習 | 1・2・3 | | 6 | | 6 | | | | |
| 研究演習科目 (特別研究) | 特別研究ゼミナール | 1・2・3・4 | 2 | | | 2 | 6単位 | | | |
| | 腫瘍外科学研究演習 | 3・4 | 4 | | | 4 | | | | |
| 修了要件単位数 計 | | | | | | | 30単位以上 | | | |

・医療学コース(がん専門薬剤師分野)

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | 授業形態 | | | 修了要件 単位数 | 備考 |
|-----------------------------|---|---------|-----|----|------|-----|------------|-------------|--------------------|
| | | | 必修 | 選択 | 講義 | 演習 | 実習 | | |
| 臨床腫瘍学を専門とする分野 共通コアカリキュラム | 研究方法論 | 1 | 1 | | 1 | | | 4単位 | 実習を含む 演習を含む |
| | 悪性腫瘍の管理と治療 | 1 | 1 | | 1 | | | | |
| | 医療倫理 | 1 | 0.5 | | 0.5 | | | | |
| | 医療対話学 | 1 | 0.5 | | 0.5 | | | | |
| | がんチーム医療概論 | 1 | 0.5 | | | | 0.5 | | |
| | 医療情報学 | 1 | 0.5 | | 0.5 | | | | |
| がん専門医・薬剤師 共通科目 | がんのベーシックサイエンスと臨床薬理学 (がんのベーシックサイエンスと治療戦略) | 2 | 1 | | 1 | | | 4単位 | 実習を含む |
| | 臨床検査・病理診断・放射線診断学 | 2 | 0.5 | | 0.5 | | | | |
| | 臓器別がん治療各論 | 2 | 2 | | 2 | | | | |
| | がん緩和治療(がん緩和医療) | 2 | 0.5 | | 0.5 | | | | |
| がん専門薬剤師分野 専門科目 | 臨床薬理学特論 | 1・2・3 | 2 | | 2 | | | 14単位 | |
| | 集学的治療薬特論 | 1・2・3 | 2 | | 2 | | | | |
| | がん専門薬剤師特論 | 1・2・3 | 2 | | 2 | | | | |
| | がん薬物治療実技演習 | 1・2・3 | 1 | | | 1 | | | |
| | がん治療修練 | 3 | 1 | | | | 1 | | |
| | 医療薬学研究方法論Ⅰ (特別研究ゼミナール) | 1・2・3・4 | 2 | | | 2 | | | |
| | 課題研究(特別研究) | 1・2・3・4 | 4 | | | 4 | | | |
| 選択科目 | 医療薬学研究方法論Ⅱ | 1・2・3 | | 2 | 1.5 | | 0.5 | 8単位 以上 | |
| | ゲノム医療薬学 | 1・2 | | 2 | 1 | 0.5 | 0.5 | | |
| | 中枢疾患診断治療学 | 1・2・3 | | 2 | 1.5 | | 0.5 | | |
| | がん生体防御学Ⅰ | 1・2・3 | | 2 | 1.5 | | 0.5 | | |
| | がん生体防御学Ⅱ | 1・2・3 | | 2 | 1.5 | | 0.5 | | |
| 修了要件単位数 計 | | | | | | | 30単位 以上 | | |

・情報医療学コース

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | 授業形態 | | | 修了要件 単位数 | 備 考 |
|------------|-----------------|---------|-----|----|------|----|------------|-------------|--|
| | | | 必修 | 選択 | 講義 | 演習 | 実習 | | |
| 専攻内共通科目 | 医学英語演習 | 1 | | 2 | | 2 | | 2単位 | |
| | 医学統計学 | 1 | 1 | | 1 | | | | |
| | 生命・医療倫理学 | 1 | 1 | | 1 | | | | |
| 特別研究科目 | 特別研究計画立案 | 1・2 | 2 | | | 2 | | 10単位 | |
| | 特別研究実験・調査 | 1・2 | 2 | | | 2 | | | |
| | 特別研究ゼミナール | 1・2・3・4 | 2 | | | 2 | | | |
| | 特別研究論文総括 | 3・4 | 4 | | | 4 | | | |
| 基礎科目 | 情報医療学基礎論 | 1 | | 2 | 1 | 1 | | 8単位 以上 | |
| | 動的病態力学Ⅰ | 1 | 2 | | 1 | 1 | | | |
| | 動的病態力学Ⅱ | 2 | 2 | | 2 | | | | |
| | バイオインフォマティクスⅡ | 1・2 | | 4 | 2 | 2 | | | |
| | 医療情報システム学 | 1・2 | | 4 | 2 | 2 | | | |
| | 疫学研究法 | 1・2 | | 3 | 1 | | 2 | | |
| ヘルスケアシステム論 | ヘルスケアシステム論 | 1・2 | | 3 | 1 | | 2 | | |
| | | | | | | | | | |
| 専門科目 | 情報医療学のためのパターン認識 | 2 | | 2 | 1 | 1 | | 10単位 以上 | 専攻内共 通科目・ 基礎科 目・専門 科目の選 択科目か ら10単位 以上 |
| 修了要件単位数 計 | | | | | | | 30単位 以上 | | |

・小児神経精神医学コース

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | 授業形態 | | | 修了要件 単位数 | 備 考 |
|-----------|---------------|---------|--------|--------|--------|--------|------------|-------------|--|
| | | | 必 修 | 選 択 | 講 義 | 演 習 | 実 習 | | |
| 専攻内共通科目 | 医学英語演習 | 1 | | 2 | | | 2 | 3単位 以上 | |
| | バイオインフォマティクスI | 1 | | 1 | 1 | | | | |
| | 医学研究法 | 1 | | 1 | 1 | | | | |
| | 医学統計学 | 1 | | 1 | 1 | | | | |
| | 生命・医療倫理学 | 1 | 1 | | 1 | | | | |
| 特別研究科目 | 特別研究計画立案 | 1・2 | | 2 | | | 2 | 10単位 | |
| | 特別研究実験・調査 | 1・2 | | 2 | | | 2 | | |
| | 特別研究ゼミナール | 1・2・3・4 | | 2 | | | 2 | | |
| | 特別研究論文総括 | 3・4 | | 4 | | | 4 | | |
| 基礎科目 | 発達障害基礎論 | 1・2 | | 2 | | 2 | | 17単位 以上 | 基礎科 目・専門 科目の選 択科目か ら12単位 以上 |
| | 発達障害学 | 1・2 | | 3 | | | 3 | | |
| | 臨床心理学 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | | |
| | 社会医学特論 | 1・2 | | 1 | 1 | | | | |
| 専門科目 | 精神科学 | 1・2・3 | | 3 | 1 | | 2 | 17単位 以上 | 基礎科 目・専門 科目の選 択科目か ら12単位 以上 |
| | 心身医学 | 1・2・3 | | 3 | 1 | | 2 | | |
| | 小児科学 | 1・2・3 | | 3 | 1 | | 2 | | |
| | 小児神経学 | 1・2・3 | | 3 | 1 | | 2 | | |
| | 思春期心身医学 | 1・2・3 | | 3 | 1 | | 2 | | |
| | 神経系における情報伝達機構 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | | |
| 修了要件単位数 計 | | | | | | | 30単位 以上 | | |

・MD-PhDコース

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | 授業形態 | | | 修了要件 単位数 |
|-----------|----------------|---------|-----|---------|------|----|------------|-------------|
| | | | 必修 | 選択 | 講義 | 演習 | 実習 | |
| 専攻内共通科目 | 医学英語演習 | 1 | 2 | | | 2 | | 5単位 |
| | バイオインフォマティクス I | 1 | 1 | | 1 | | | |
| | 医学研究法 | 1 | | ※1 1 | 1 | | | |
| | 医学統計学 | 1 | 1 | | 1 | | | |
| | 生命・医療倫理学 | 1 | 1 | | 1 | | | |
| 特別研究科目 | 特別研究計画立案 | 1・2 | 2 | | | 2 | | 10単位 |
| | 特別研究実験・調査 | 1・2 | 2 | | | 2 | | |
| | 特別研究ゼミナール | 1・2・3・4 | 2 | | | 2 | | |
| | 特別研究総括 | 3・4 | 4 | | | 4 | | |
| 基礎科目 | ※1 | | | | | | 15単位 以上 | |
| 専門科目 | | | | | | | | |
| 修了要件単位数 計 | | | | | | | 30単位 以上 | |

備考 ※1 生命科学コース, 医療学コース, 情報医療学コース,
小児神経精神医学コースの基礎科目及び専門科目から, 専門分野に応じて基礎科目4単位及び
専門科目10単位を修得し, かつ, これらの表の基礎科目若しくは専門科目(専門分野を問わない)
又は専攻内共通科目の選択科目から1単位以上を修得する。

・海洋医学コース

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当 年次 | 単位数 | | 授業形態 | | | 修了要件 単位数 |
|-----------|----------------|----------|-----|----|------|----|------------|-------------|
| | | | 必修 | 選択 | 講義 | 演習 | 実習 | |
| 専攻内共通科目 | 医学英語演習 | 1 | 2 | | | 2 | | 6単位 |
| | バイオインフォマティクスⅠ | 1 | 1 | | 1 | | | |
| | 医学研究法 | 1 | 1 | | 1 | | | |
| | 医学統計学 | 1 | 1 | | 1 | | | |
| | 生命・医療倫理学 | 1 | 1 | | 1 | | | |
| 特別研究科目 | 特別研究計画立案 | 1・2 | 2 | | | 2 | | 10単位 |
| | 特別研究実験・調査 | 1・2 | 2 | | | 2 | | |
| | 特別研究ゼミナール | 1・2・3・4 | 2 | | | 2 | | |
| | 特別研究総括 | 3・4 | 4 | | | 4 | | |
| 基礎科目 | 海洋科学 | 1・2 | 2 | | 2 | | | 6単位 以上 |
| | 細胞分子生物学Ⅰ(英語読解) | 1・2 | | 2 | | 2 | | |
| | 基礎神経解剖学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎病理学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎生化学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎分子生物学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎薬理学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | 基礎微生物学実験法 | 1・2 | | 4 | 1 | | 3 | |
| | 基礎生命機能解析法 | 1・2 | | 4 | 1 | 1 | 2 | |
| | バイオインフォマティクスⅡ | 1・2 | | 4 | 2 | 2 | | |
| | 社会医学特論 | 1・2 | | 1 | 1 | | | |
| | 疫学研究法 | 1・2 | | 3 | 1 | | 2 | |
| 専門科目 | 海洋薬理学 | 1・2 | 2 | | 1 | 1 | | 8単位 以上 |
| | 海洋気候環境医学 | 1・2 | 2 | | 1 | 1 | | |
| | 海洋臨床医学 | 1・2 | 2 | | 1 | 1 | | |
| | 悪性腫瘍の病理 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 生体膜における糖鎖機能 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 転写制御機構と発癌 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 下部尿路の機能制御 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 微生物感染の病態と発癌 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 分子生物学 | 1・2 | | 2 | 1 | 1 | | |
| | 環境保健学 | 1・2 | | 3 | 1 | 1 | 1 | |
| | 保健医療福祉情報解析学 | 1・2 | | 3 | 1 | 2 | | |
| | リスク評価・制御論 | 1・2 | | 3 | 1 | 1 | 1 | |
| 薬物治療学 | 1・2・3 | | 3 | 1 | | 2 | | |
| 修了要件単位数 計 | | | | | | | 30単位 以上 | |

試験場案内 Access to Oko Campus

試験場：高知大学岡豊キャンパス(南国市岡豊町小蓮)

Examination Center：Oko Campus (Kohasu, Oko-cyo, Nankoku-shi)

[交通アクセス] Access (Information)

① JRで来られる方へ From JR station

| | | |
|----------------------------|--|--|
| JR 高知駅 JR Kochi Station | とさでん交通バス <small>(領石, 南国オフィスパーク, 医大病院 行きに乗車)</small> 医大病院下車【時間約25分】▶ About 25 minutes by bus (Tosaden bus: Take a bus to Ryoseki, Nankoku Office Park, or Medical School Hospital, and get off at Medical School Hospital). タクシー【時間約20分】▶ About 20 minutes by taxi. | 高知大学医学部 (岡豊キャンパス) Medical School (Oko Campus) |
| JR 後免駅 JR Gomen Station | タクシー【時間約10分】▶ About 10 minutes by taxi. | |

② 高知市内よりバスで来られる方へ From Kochi-city

| | |
|---------------------------------------|--|
| 北はりまや橋 Kita-harimayabashi bus stop | とさでん交通バス <small>(領石, 南国オフィスパーク, 医大病院 行きに乗車)</small> 医大病院下車【時間約30分】▶ About 30 minutes by bus (Tosaden bus: Take a bus to Ryoseki, Nankoku Office Park, or Medical School Hospital, and get off at Medical School Hospital). タクシー【時間約25分】▶ About 25 minutes by taxi. |
|---------------------------------------|--|

③ 航空機で来られる方へ From Kochi Airport

| | | |
|-------------------------------|---|--|
| 高知龍馬空港 Kochi Ryoma Airport | 空港連絡バス【時間約40分】▶ About 40 minutes by limousine bus. | JR Kochi Station (あと①に同じ) Follow ① |
| | 空港連絡バス【時間約35分】▶ About 35 minutes by limousine bus. | Kita-harimayabashi (あと②に同じ) Follow ② |
| | タクシー【時間約30分】▶ About 30 minutes by taxi. | |

※発着時刻・料金は、時刻表などでご確認ください。

各キャンパス

案内図

Kochi Medical School (Okko Campus)

